

第七十五回
帝國議會
貴族院

國民體力管理法案特別委員會會議事速記録第五號

(九〇)

昭和十五年三月七日(木曜日)午後一時四十分開會

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ開會致シマス

○政府委員(林信夫君) 過日醫師ノ實力ト云フヤウナ問題カラ、厚生省ニ於テ行ッテ居リマス醫藥制度調査會ノ方デ、現在ノ醫學校ノ卒業生ニ直チニ開業出來ル免狀ヲ與ヘテ居ル制度ニ付キマシテ、現在ノ學校教育ニ於テハ臨床實習ノ方面ガ尙十分デナイ爲ニ、卒業ノ方ニ直グ免狀ヲ與ヘルト云フコトハ、一般開業ノ免狀トシテハ尙十分ニ考ヘナケレバナラスカラ、少クトモ卒業後一年間臨床實習ヲヤツタ上デ開業ノ免狀ヲ與ヘルト云フコトニスル必要ガアラウト云フ意見ガ段々出マシテ、尙此ノ實習ハ醫師免許ガ何ノ專門ト云フコトナシニ、ドノ診療デモ爲シ得ルト云フ内容ヲ有ッテ居ルノデアリマスルカラ、一般的ナ診療ヲ實習スルト云フコトヲ必要トシヨウ、尙又實習スルニ付キマシテハ、現在ノヤウニ多數ノ學生ガ同時ニ實習スルト云フノデハ效果ガ少イカラ、指導醫師ヲ決メマシテ、其ノ指導醫師ニ附屬スル、詰リ被指導者ノ數ヲ一定限度ニシテ、手ヲ取ッテ教ヘルト云フ仕方ヲ必要トスル、斯ウ云フ意見ガ段々出マシタニ付キマシテ、他方、現在デモ醫科ノ學生ハ相當長イ期間勉強シテ居ルノデアリマスルカラ、一層其ノ上ニ一箇年ノ實習ガナケラネバ免許ヲ貰ヘナイト云フコトニナルト、尙更ソレハ學生生活ノ延長ニ等シイモ

ノニナルノデアアルカラ、寧ロ學制制度ヲ改正シテ、學校内ニ於ケル生活ノ中ニソレダケノ實習ヲ積ムト云フ具合ニシタラ尙結構ヂヤナカラウカ、斯ウ云フ意見ガアツタノデアリマス、ソコデ文部省ノ方デハ偶、教育審議會ガ開カレ、又資格委員會等ガ開カレマシタノデ、其ノ方ノ意向ヲ承ルコトニ致シマシタ處、現在ノ醫科ノ教育ニ於テハ尙一層實習ニ重キヲ置クコトガ必要デアルト云フ趣旨ニハ全然賛成デアルガ、何ヲ申セ、サウシマス、卒業後尙免許ヲ戴ク迄ニ一箇年ノ日子ヲ要スルコトデアルカラシテ、現在ノ學校教育ノ内容ヲ改善スルコトニ依ッテ、ソレニ實習スル時間ヲ振向ケルノ工夫ヲ致シテ居ルカラ暫ク卒業後一箇年ノ實習ヲ法的ニ決メテ行クト云フヤウナコトヲ待ツテ、文部省側ノ決定ト歩調ヲ合シテ呉レナイカ、斯ウ云フ話ニナッテ參ッテ居ルノデアリマス、其處デ醫藥制度調査會ノ方ハ、尙總會ニカケルニ至ッテ居リマセス、特別委員會ノ問題デアリマスガ、現在ノ所デハ左様ニスル必要ガアル、先程申上ゲマシタヤウニ左様ニスル必要ガアルト云フノハ委員ノ意見ノ殆ド一致ヲ見テ居ルノデアリマシタガ、出來ルコトナラバ、現在ノ學生生活ノ年限ヲ延長スルコトナクシテ、之ヲ實施スルヤウニ技術内容ヲ改善スルコトヲ先ヅ文部省ニ要求シ、文部省ガ之ヲ容レテ、大イニ今日ノ學制制度ヲ考慮シテ貫ツタ上、尙且ソレガ出來ナイト云フ場合ニハ、先程申スヤウナ趣旨ニ於テノ一般ニ直チニ診療ニ從

事スル免狀ヲ與ヘル方策ヲ考ヘテ宜カラウカト云フ點ニ迄ナッテ居ルノデアリマス、而シテ文部省ノ方ニ於テハ、尙今日は等ノ問題ニ付テ決定ナクシテ迄達シテ居ラナイヤウデアリマスルガ、文部當局カラ當該委員會ニ出マシテ申サレタ所ニ依リマス、サウ長イ時間ヲ掛ケルコトナクシテ結論ヲ見出シタイト思ッテ居ルト、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、大體一箇年ノ實習問題ニ付テ文部當局ト醫藥制度調査委員會トノ間デノ只今迄ノ經過ヲ申上ゲマシテ、或ハ足りマセヌデシタラ又申上ゲルコトニ致シマス

○委員長(子爵野村益三君) 大體論ニ付テ御質疑ガ如何デスカ……御異議ガナケレバ今日カラ逐條ノ御質疑ヲ願ヒマシテ、ソレカラ尙大體論ニ付テノ御質疑ガアレバ、ソレガ終ッテ後ニ御願ヒスルコトニ致シタイト思ヒマス、御異議ガナケレバサウ云フ風ニ進ミタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ逐條ニ移リマス、ドウシマセウカ、第一條カラ簡單ニ説明フシテ貰ヒマセウカ、宜シウゴザイマスカ、ソレデハ當局ガ特ニ説明ヲシタ方ガ宜カラウト思ハレル簡處ノミ説明ヲ願フコトニ致シマセウ

○政府委員(佐々木芳遠君) 第一條「政府ハ國民體力ノ向上ヲ圖ル爲メ本法ノ定ムル所ニ依リ國民ノ體力ヲ管理ス」本條ハ本法案ノ目的ト、管理ノ主體、誰ガ管理スルカト云フコトト、ソレカラ、管理ノ客體ヲ明カニシタ

條文デゴザイマス、國民體力ノ管理ト申シマスコトハ、從來親權者ニ一任セラレテ居リマシタ、未成年者ノ心身ノ保護監督ニ、國民體力ノ向上ト云フ見地カラ、或程度國家ガ關與致シ、同時ニ管理スルト云フ意味ヲ現シタノデゴザイマス、即チ是迄民法上ノ義務デアリマシタモノヲ、或程度公法上ノ義務トシテ履行セシメヨウト云フノデアリマシテ、其ノ内容ヲ申上ゲマシト、先ヅ第一ニ被管理者ノ全部ニ對シマシテ、體力検査ヲ施行致シマス、デ本人ニハ之ヲ受クル義務ヲ課シマシテ、一面保護者及ビ教育監督又ハ使用ノ目的ヲ以テマシテ、被管理者ヲ寄寓セシムル者ニハ之ヲ受ケシムルノ義務ヲ課シタノデアリマス、第二ニ検査ノ結果必要アリト認ムル場合ハ、指導ヲ與ヘルノデアリマスルガ、更ニ特定ノ場合ニハ、指示ヲ爲シ或ハ療養ヲ命ズルノデアリマシテ、國家ハ是等ノ指示、處置、命令等ノ履行ヲ監督スルノデアリマス、第三ニ若シ療養ノ處置ヲ命ゼラレタルモノガ、貧困ノ爲ニ履行シ得ナイ場合ハ、國民體力管理員ヲシテ療養ノ指導ニ當ラシメ、又體質虛弱ナル者ニ對シマシテハ、體力向上施設ニ於テ直接之ガ指導ニ當ルノデアリマシテ、是等體力検査ノ強制、義務履行ノ監督、療養又ハ體力向上ノ直接指導、斯ウ云ツタヤウナコトヲ綜合シテ國民體力ノ管理ト云フコトニ致シタノデアリマス、デ政府ト申シマスルノハ、是ハ國家、國ト云フヤウナ意味デゴザイマス、體力ト云フコトハ昨日モ御説明

申上ゲマシタ通り、身長、體重、胸圍所謂體格ト稱セラレマスル形態の要素バカリデナクシテ、智力、意力、作業能力適應能力ト云フヤウナモノヲ綜合シテ觀念デゴザイマス、以上大體御説明申上ゲマス

○主査(子爵野村益三君) 御質疑ハゴザイマセスカ
○男爵黒田長和君 チョット伺ヒマスガ、斯ウ云フ風ニ物質デナク、人間ヲ管理スルト云フヤウナ言葉ガ使ッテアル例ハゴザイマスカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 管理ト云フ言葉ハ物バカリデアリマセヌノデ、法人ヲ管理スルト云フヤウナ言葉ヲ法制上使ッテ居リマス、或ハ事務ノ管理ト云フヤウナ場合ニモ管理ト云フ言葉ヲ使ッテ居リマス、民法上ノ事務管理ノヤウニ人間ノ生命ナリ、名譽ナリヲ毀損セラル、コトヲ防止スル意味ニ於テ管理ト云フ言葉ヲ使ッテ居ルヤウニ思ハレマス

○男爵山川建君 只今ノ御質問ニ關聯シテデアリマスガ、只今ノ法人ト云フ御話デアリマスガ、法人ハ申上ゲル迄モナク自然人デナイノデアリマス、ソレカラ事務管理ノ方ハ名譽其ノ他人ニ關係ノアルコトハ確カニアルノデアリマスガ、外ニモット包括シテ居ルモノガアルト思フノデゴザイマス、ソレデ若シサウデアリマスナラバ自然ダケノ問題ニ付テ管理ト云フ言葉ガ使ッテアル前例ガアリマスカドウカ、伺ヒタイ

○政府委員(佐々木芳遠君) 管理ト云フ言葉ハ色々ノ場合ニ使ッテ居リマスガ、サウ云フノハ私マダ分ラヌノデゴザイマス
○男爵黒田長和君 サウナリマス、體力ト云フモノヲ物トシテ本人カラ引離シテ體

力其ノモノヲ管理スルノダト云フ意味ニナリマス、カ

○政府委員(佐々木芳遠君) 管理ノ對象ハ體力デゴザイマシテ、其ノ體力ト云フモノヲ管理スルノデス
○男爵黒田長和君 分リマシタ、ソレデハ本人ノ意思ヲ無視シタ譯デスネ

○政府委員(佐々木芳遠君) 本人ノ意思ヲ無視スルト云フコトハナイト私ハ思フノデアリマスガ、體力ヲ物扱ニシタト云フヤウナコトハナイトデアリマシテ、管理ト云フ言葉自體ガ非常ニ廣イ意味デゴザイマシテ、先達デモ申上ゲマシタ通り色々廣イ意味ニ使ッテ居ラレ、デ此ノ管理ノ本法デ目指ス所ヲ網羅スル言葉トシテハ此ノ管理ト云フ言葉ガ最モ適當シタモノデアル、斯ウ云フ意味デ使用シテアルノデゴザイマス

○男爵黒田長和君 ヨク分リマシタ
○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイマスカ、ソレデハ次ニ移リマセウ、第二條

○子爵立花種忠君 此ノ第三號ノ「其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者」ト云フコトニ付テ詳細ク御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐々木芳遠君) 第三號ノ「勅令ヲ以テ定ムル者」ト申シマスルノハ外地又ハ外國ノ河川、港灣ノ間ノミヲ航行シテ、サウシテ内地ニ寄港シナイ日本船舶ニ乗込シテ居リマスル船員及ソレニ準ズル者之ヲ豫定シテ居リマス、是等ハ事實上體力検査ヲ實施スルコトガ出來マセヌノデ除外シタノデゴザイマス
○子爵立花種忠君 サウシマス、只今ノ御説明ハ分ッテ居リマスガ、其ノ他艦隊ニ附イテ居ル軍屬トカ、マア色々ナ者ガアルト思ヒマスガ、サウ云フ者ハ、時々内地ニ歸

リハシナイカト思ヒマスガ、或所デ聞クト斯ウ云フ者モ、此ノ中ニ含メルンダト云フヤウニ承知シテ居ルノデスガ、如何デゴザイマス、カ

○政府委員(佐々木芳遠君) 艦隊ニ屬シテ居リマスル軍屬トカ、其ノ他ソレニ準ズルヤウナ者ノ體力検査ニ付キマシハ、是ハ只今海軍省當局ト協議ヲ致シマシテ便宜ナ方法ニ致シタイト思ッテ居リマス

○子爵立花種忠君 マダソレハ決定ニ至ラズシテ、此ノ法案ガ通ツタ後ニ於テ何等カ決ルト、斯ウ云フコトニナルノデスネ、サウスルトマア大シタ大キナコトハナイト思ヒマスガ、我々委員トシテ御説明ヲ聽イテモハッキリ分ラナイ中ニ、是ガ通ツテ其ノ後ニ於テ政府ニ於テ決定スルト、此ノコトニ付テハ無論反對ハナイト思ヒマスガ、若シモ我々が通シテシマツテカラ、ドウモソレハサウ云フコトデハ困ルト云フヤウナコトガ起ツタ時、我々ハ責任ヲ負ハナケレバナラスト思ヒマスガ、ソナナノハドウナリマスカ

○政府委員(佐々木芳遠君) ソレハ管理ノ對象ニハ無論ナルノデゴザイマス、ドウ云フ方法デ體力検査ヲスルカト云フ其ノ方法ノ問題デアリマスガ、是ハ色々其ノ軍屬ダケデアリマセヌノデ、他ノ省トノ關係ノモノモゴザイマス、ソレハ體力検査ヲ執行スルデアリマスガ、ドウ云フ場所デ、ドウ云フ方法デヤルカト云フコト等ハ相談ノ上決メル積リデゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ次ニ移リマス、第三條
○政府委員(佐々木芳遠君) 第三條ノ要旨ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、本法ノ對象ガ

未成年者デアリマスル關係上保護者ヲ必要トスルノデアリマスルガ、親權ヲ行ヒマスル者ハ我が民法ニ於キマシテ未成年者ノ子ニ付テ保護ノ義務ヲ有スルノデ、原則トシテ之ヲ保護者ト致シ、親權ヲ行フ者ガナイ場合ニハ後見人又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者ヲ以テ保護者ト致シタノデアリマス、本法ハ未成年者ノ體力ノ向上ト云フコトヲ目的トシテ居リマスルノデ、我が民法ニ於テモ、所謂マア我が國ノ家族制度ニ於テハ親ガ其ノ子ヲ扶養シ、或ハ教育ヲシ、又監護ヲスル、是ガ民法ノ原則デアリ、又我が家族制度ノ根本デアルノデアリマス、此ノ我が國ノ家族制度ノ精神ニ從ヒマシテ、其ノ親ノ仕事ニ協力ヲ致シ、又場合ニ依ッテハ代ッテヤツテ行カウト云フ趣旨デ、其ノ仕事ノ責任者トシテ保護者ト云フモノヲ、此處ニ決メタ次第デゴザイマス

○主査(子爵野村益三君) 宜シウゴザイマスカ、次ニ移リマス、第四條

○政府委員(佐々木芳遠君) 第四條ニ於キマシテ、此ノ未成年ニ達スル時期、所謂其ノ年十一月三十日ニ於テ年齢二十年ニ達セザル者ハ體力検査ヲ受クルコトヲ要スルトキメマシタノハ、此ノ十一月三十日ニ於テ滿二十年ニ達シタ者ハ兵隊検査ヲ受ケルコトニ相成ルノデアリマシテ、達シナイ者ダケフコ、デ體力検査ヲヤルト云フコトニ致シタノデアリマス、兵役法トノ牽聯上、斯ウ云フ工合ニ規定致シマシタ、ソレカラ「教育監護又ハ使用ノ目的ヲ以テ寄寓セシムル者」ハ教育監護ノ目的ヲ以テ寄寓セシムル者ト云フノハ、例ヘバ塾ヲ開イテ居リマシテ、其ノ塾ノ中ニ居ル所謂塾生、ソレカラ内弟子、書生ソレカラ里子、ソレカラ學

校寄宿舎、農民道場等ニ居ル者等ガ、教育
監護ノ目的ヲ以テ寄寓セシムル場合ニ相當
致シマス、ソレカラ使用ノ目的ヲ以テ寄寓
セシムル場合トシマスノハ、徒弟トカ、丁
稚デアルトカ、小僧トカ、下男、女中、或
ハ又會社工場ノ寄宿舎ニ居ル者、斯ウ云フ
者ガ其ノ場合ニ相當致シマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイ
マスカ、御質疑ナケレバ第五條

○政府委員(佐々木芳遠君) 第五條ハ體力
管理ヲ施行スルモノト、其ノ對象範圍ヲ規
定シタノデゴザイマスデ體力管理ハ原則ト
シテ市町村ノ區域ニ依ルコト、致シ、市町
村長ハ其ノ市町村内ニ居所又ハ住所ヲ有ス
ル被管理者デアツテ、其ノ年、體力検査ヲ受
ケルコトヲ要スル者ノ體力検査ヲ施行スル
ノデアリマスルガ、事務所、商店、工場、
事業場等ノ如ク多數ノ被管理者ヲ使用スル
場合ハ、施行上カラモ、或ハ爾後ニ於ケル
管理上カラモ、事業主又ハ管理人ニ於テ其
ノ使用スル者ノ體力検査ヲ行ウコトヲ便宜
トスルノデアリマスガ、費用負擔又ハ處罰
等ノ關係モアリマスルノデ、之ヲ劃一的ニ
義務トシマセンデ、勅令ノ定ムル所ニ依ッ
テ、地方長官ヨリ體力検査ヲ行フコトヲ命
ゼラレタ場合ニ、事業主又ハ管理人ニ於テ
之ヲ行フコトトシタノデアリマス、又ハ學
校ハ其ノ在學セル學生生徒ニ對シマシテ、
之ガ體力検査ヲ施行スルコトハ教育ト密接
ナル關係ヲ持ッテ居リマスガ故ニ、勅令ヲ以
テ定メル學校ニ於テハ、當該學校長ヲシテ
行ハシムルコトトシタノデアリマス

○男爵山川建君 豫算ニ病氣不參者検査費
ト云フモノガ少額デアリマスガ載ッテ居リ
マスガ、豫定致シマシタ期日偶、該當年齡者
ガ病氣デアルト云フヤウナ場合ニ、病氣不
參者検査費ト云フノガアリマスカラ、何カ
ノ方法ニ依ッテ期日ヲ延バストカ、或ハ家ヲ
訪問シテカ何カ存ジマセヌガ、特別ノ検査
ヲ爲サルト云フコトニナルト思ヒマスガ、
其ノ事情ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、ソレカ
ラ是ハ文部當局ニ伺ヒタイノデアリマスガ、
此ノ將來夜間、季節ノ學校ニ付キマシテ
ハ、身體検査ハ今日全部行ハレテ居ルトハ
思ッテ居リマセヌガ、法ノ建前カラ申シマス
ト、全部行フコトニナツテ居ルノデアリマ
スガ、將來此ノ體力管理法ガ實施ニナリマ
シタ際ニハ御廢止ニナリマス御見込ガアリマ
スカドウカ、之ヲ一應文部當局ニ伺ッテ見
タイト思フノデアリマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 病氣ノ爲ニ所
定ノ期日ニ検査ガ出來ナイ者、ソレニ對シ
マシテハ執行者、市町村長ハ體力検査醫ヲ
派遣シマシテ検査ヲスル積リデゴザイマス
○説明員(小笠原道生君) 夜間ノ學校ニ於
テ行ッテ居リマス學校身體検査ニ付キマシ
テ、將來此ノ體力管理法ニ依ル體力検査
ガ十分ニ普及シテ行ハレルヤウニナツタ際
學校身體検査ノ方ヲ廢止スル考ガアルカド
ウカト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、學校
ノ身體検査ハ學校ノ身體検査トシテノ意義
目的ヲ持ッテ居リマスノデ、勿論其ノ中ニハ
此ノ體力検査ト意義、目的ガ合致スル部分
モ多量ニ含マレテハ居リマスガ、必ズシモ
全部ガ全然同ジトモ申シ得ナイ點ガゴザイ
マスノデ、簡單ニ廢止スルカドウカト云フ
點ハ、今チヨット申上ゲル譯ニハ參リナイノ
デゴザイマス、尙實施上ノ便宜ト致シマシ
テ、將來ニ於テ殆ド似寄リノモノガ二ツ別
個ニ行ハレテ、被檢者ガ其ノ爲ニ甚ダシイ

不便ヲ感ズル、之ヲ適當ナ方法ヲ講ズルナ
ラバ、其ノ不便ヲ除クコトガ出來ルト云フ
ヤウナ事柄ガゴザイマシタ場合ニ、サウ云
フ點ニ付キマシテハ、實施上ノ方法トシテ
適當ナ考慮ヲ加ヘナケレバナラナイトハ考
ヘテ居リマス、只今ノ所廢止スルト云フヤ
ウナコトハ申上ゲ兼ネルノデゴザイマス
○子爵立花種忠君 只今ノニ關聯シテ居ル
ノデスガ、文部省ニ伺ヒマスガ、學校ニ醫
者ヲ常置シテ居ルノハ、ドノ位アリマセウ
カ、校名ヲ一々伺ハナクテモ宜シウゴザイ
マスガ、御分リニナリマスカ

○説明員(小笠原道生君) 學校ニハ學校醫
ガ置カレテ居リマシテ、只今御尋ノ御言葉
ノ常置ト仰シタル御言葉ガ、若シ毎日醫者
ガ學校ニ詰メテ居ルト云フ意味ダト致シマ
スト、合致シ兼ネルノデゴザイマスガ、
其ノ學校ノ擔任ノ學校醫ト云フモノガ置カ
レテ居ルノデゴザイマス、尤モ各種ノ學校
ヲ通ジテ全部ノ學校ニ置カレル筈ニナツ
テ居リマスガ、其ノ中デ現在缺員デアツテ、現
實ニ學校醫ノ居ラナイ學校モ若干ゴザイマ
スガ、全部ノ學校及幼稚園ノ總數ヲ申上ゲ
マスト四萬八千二百十五校ゴザイマシテ、
其ノ中デ學校醫ノ設置ガナイ學校ノ數が一
萬五千二百十三校ゴザイマス、但シ此ノ中ニ
ハ青年學校ガ小學校ト併置サレテ居ルト云
フヤウナ場合、若シクハ青年學校以外ニモ
二ツノ學校ガ併置サレテ居ルト云フヤウナ
場合ニ、一校ノ校醫ガ實質上他ノ學校ノ校
醫ノ仕事ヲ致シテ居ルト云フヤウナモノモ
含マレテ居リマスノデ、只今申上ゲマシタ
一萬五千ト云フ數ハ實質上ニ於テハモウ少
シ減ルモノト考ヘテ居リマス

○子爵立花種忠君 此ノ法案ガ、國家ガ行
フ所ノ國民體力管理ト云フモノデアリマス
以上ハ、寧ロ學校ノ學生生徒ノ體力検査ト
云フモノヲ此ノ際、全部厚生省デナサル此
ノ體力検査デナサレタ方ガ寧ロ宜イノデヤ
ナイカト思フデスガ、ト云フノハ例ヘバ、
此ノ度出マシタ自動車ノ改正法案ヲ見マシ
テモ、鐵道省カラ補助等ヲ與ヘル爲ニ權限
ガ擴張サレテ來マシタケレドモ、免許ハ矢
張り地方長官ガヤル、片方ノ總テノ監督ハ
鐵道省ガヤル、可ナリ複雑ナモノデアリ、
統一ガ付カナイモノデハナイカト云フヤウ
ナ氣ガスルノデアリマスガ、ソレト少シハ
違ヒマスケレドモ、一方ニ於テ此ノ體力檢
査ヲ厚生省ガヤリナガラ學校ダケハ除外ス
ル、或ハ將來サウ云フコトニナルカモ知レ
ナイヤウデモアリマスケレドモ、イッソ此ノ
際文部省トシテ御自分ノ學校ノ中ノモノ
ヲ、何ト云ヒマスカ、干涉サレルト云ヒマ
スカ、手離シ難イヤウナ御心持ガアルカト
思ヒマスケレドモ、ドウモ考ヘテ見マス
ト、國家ガ之ヲナサルナラバ、イッソ思ヒ
切ッテ、此ノ際總テメテナサツタ方ガ宜クハナ
イカト云フヤウナ考ヲ持ツノデゴザイマス
ガ、如何ナモノデゴザイマスカ

○政府委員(子爵舟橋清賢君) 只今ノ御質
問ノ御趣旨ハ一應御尤モト考ヘマスガ、文
部省ニ於キマシテハ矢張り教育上ノコトニ
モ色々關聯ヲ持チマスノデ、學生ノ體格檢
査ニ付キマシテハ、是ハ此ノ法案ノ趣旨モ
アリ、又從ッテ厚生省ノ趣旨方針ニ從ッテ、
學校ニ於ケル體格検査ト云フコトニ付テ
ハ、文部省トシテハ行フ、斯ウ云フ風ニ考
ヘテ居リマス

○平沼亮三君 私人ノ伺ヒタイト思ヒマシタ
コトハ、今ノ御質問ニ似テ居ルノデスガ、

先程山川委員カラ夜間學校ノ生徒ヲ如何ニ
スルカト云フ御尋デアッタノデスガ、今丁度
政府委員カラ御話ガアリマシタ通り、今ノ
處デハ當分ハ十七歳カラ十九歳デスカラ、
小學校ニハ關係アリマセヌガ將來ハ深い關
係ガ小學校ニ起ツテ來ルト思ヒマスガ、サウ
云フ場合ニ小學校ノ今迄ノ體格検査ナルモ
ノハ相當先生方ガ手傳シテ居ルガ、今度モ相
當手傳ハナケレバナラスノデ、先程學校ハ
除外スルト云フ御話デアリマシテ、除外シ
ナイニシテモ矢張りヤルダラウト思ヒマス
ガ、サウ云フ場合ニ今迄ノ小學校ノ間ニ、
文部省ノ方ノ意味デヤツテ居ッタノト、今度
ノト衝突シナイカ、二重ニヤルノハ無駄デ
ヤナイカト思ヒマスガ、文部省ノ方ノ御考
ハドンナモノデセウカ、厚生省ノ方カラデ
モ、ドチラデモ構ヒマセヌ

○政府委員(佐々木芳遠君) 管理法ノ建前
ハ國民全般ヲ對象ト致シマシテ、國民トシ
テ國民體力ノ検査ヲヤルト云フ建前デ、全部
未成年者ノ體力検査ヲヤルト云フ建前ニ
ナツテ居リマス、學生生徒ニ付キマシテハ、
從來文部省デ學校教育ノ立場カラ年々身體
検査ヲヤツテ參ッタノデアリマス、理窟カラ
申シマス、學校身體検査モヤレル、ソレ
カラ又一面國民體力ノ検査モヤレル、二度
三度ヤレルコトニナルノデアリマスガ、サ
ウシマスト受ケル方ノ立場モアリマスシ、
又ヤル方モ手數デアルノデアリマシテ、之
ヲ一回ノ體力検査デ兩方ノ使命ヲ全ウセシ
メヤウ、斯ウ云フ意味合カラ文部省ト厚生
省ト十分協議ヲ致シマシタ結果、併セテ之
ヲ行ヒ、唯一回ノ體力検査デ兩方ニ使フト、
斯ウ云フ建前ニ致シタノデアリマス
○平沼亮三君 能ク分リマシタ

○男爵山川建君 先程伺フノヲ忘レマシタ
ガ、斯ウ云フ場合ニハドウナリマスカ、一
人ノ被管理者デアツテ、學校デモ身體検査ヲ
受ケ得ラレル資格ガアル、又使用人ト云フ
廉、事務所事業上ニ働イテ居ルト云フ廉デ
モ資格ガアルト云フ場合ニハ、ドチラノ資
格ニ於テ検査ヲ受ケルカト云フコトハ本人
ノ選擇ニ委セラレルノデアルカ、ドウデア
リマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(佐々木芳遠君) 御話ノ筋ハ能
ク分ルデスガ、例ヘバ具體的ニドウ云フ場
合デアリマスカ

○男爵山川建君 例ヘバ辯護士ト事務所ニ
自分ハ奉職シテ居ル、併シ畫カラ執務スレ
バ宜シイト云フ辯護士ノ事務所ノ執務狀況
デアッタトスル、サウ致シタ場合ニ晝間ノ通
年制ノ學校ヘ通ツテ、晝マデハ通ヒ得ルトユ
ウ狀況ニアツタ場合ニハ、學校ノ方デ検査ヲ
受ケテモ宜シ、又事務所ノ使用人ガ四十人
以上アツテ、地方長官ニ届ケテ出デテソチ
ノ方デ検査ヲ受ケテモ宜シイト云フ狀況ガ
アツタ場合ニ、自分ガドチラノ方デ検査ヲ受
ケテ宜イカ、選擇ハ誰ガスルノデスカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 晝間通年制ノ
學校ニ通ツテ居ル、サウ云フノハ學校デヤ
テ宜イト思ヒマス

○男爵山川建君 サウスルト事務所ノ方ヲ
受ケナクテモ宜イ譯デスカ、學校ノ方受ケ
レバサウ云フ人ガアルトスレバ……

○政府委員(佐々木芳遠君) ソレハ學校ノ
方デ受ケレバ外ノ方ノ検査ハ受ケナクテモ
濟ム譯デス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイ
マス……第六條ニ移リマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 第六條ハ條文

ヲ御讀ミ願ヘバ大體御了解願ヘルト思ヒマ
ス

○委員長(子爵野村益三君) 命令事項ハ別
冊ノ方ニゴザイマスカラ、御質問ハゴザイ
マセスカ……ソレデハ第七條ニ移リマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 第七條モアノ
御手許ニ別ニ差上ゲマシタ命令案ノ要綱、
之ヲ御覽願ヘバ御了解願ヘルト思ヒマス

○子爵實吉純郎君 此ノ要綱ヲ見マス、
第一ノ體力検査ノ項目ハ身長ト體重ト胸圍
云々トアリマスガ、是ダケデ十分ナンデゴ
ザイマセウカ、或ハ將來之ヲモウ少シ精密
ニヤルト云フ御考ガアリマスカ

○政府委員(會我梶松君) 此處ニ掲ゲマシ
タ項目ハ主ナル項目ダケ掲ゲテ置イタノデ
アリマスガ、更ニ詳細ハ省令ヲ以テ規定ヲ
致ス積リデゴザイマス、ソレカラ只今御話
ノヤウニ、尙之ヲ實施ヲ致シマシテ、其ノ
實際ニ徴シマシテ、必要ナル項目ガアリマ
シタラ將來モ附ケ加ヘテ行ク積リデゴザイ
マス

○子爵實吉純郎君 此ノ中ニ近頃能ク測定
ヲ致シテ居リマス坐高、是ガ拔ケテ居リマ
スガ、是ヲ抜カス理由ガアツタノデアリマ
セウカ、參考ノ資料ヲ見マス、坐高ヲ測
定シテ居ル場合ガ千葉縣ノニハアツタヤウ
デアリマスガ、ソレヲ今度ハ抜カシテアル、
是ハ相當ノ理由ガアツタノデスカ

○政府委員(會我梶松君) 御答申上ゲマス、
坐高、頭圍、ソレカラ上膊圍等ニ付テモ相
當專門委員會ニ於テ之ヲ實施スルカ、ドウ
カト云フコトヲ検討シテ見マシタ、之等ニ
付テハ色々未ダ專門委員ノ間ニモ意見モア
リマシタノデ、是ハ後日ノ研究ニ委ネルコ
トニ致シマシタ、只今實施ノ要項ト致シマ

シテハ之ヲ省クコトニシタノデアリマス

○子爵實吉純郎君 ソレカラ體重、胸圍ダ
ケデハ此ノ胸圍ノ有様ハハッキリ分リマセ
ヌ、前後徑、厚サト云フコトガ可成リ肝要
ナ體格ノ標準デアリマス、胸圍ガ廣クテモ、
前後徑ガ狭クテモ、サウ云フ體格ノ人ハ肺ノ
方ノ疾患ニ罹リ易イヤウニ思ヒマス、ソレマ
デ調ベタ方ガ私ハ宜イノデヤナイカト云フ
感じガ致シマス、ソレカラ女性ニ付テハ骨
盤ノ測定ト云フコトモ、是ハ産兒ヲ出シマ
ス時ニ非常ニ關係ガアリマス、是モ十分ニ
前カラ女性ノ骨盤ノ廣サ、日本人ノ骨盤ノ
廣サト云フモノヲ調ベテ置クト云フコト
ハ、將來ノ研究ト言ヒマス、産兒ノ上ニ付
テ非常ニ必要デヤナイカ、ソレモ私一個ノ
考デアリマスガ、之ヲ入レテ戴クヤウナコ
トガ將來ニ起ルカモ知レマセヌト思ヒマス、
此ノ點ヲ……

○政府委員(佐々木芳遠君) 此ノ項目ニ付
キマシテハ專門委員會デ相當研究ヲサレタ
ノデアリマス、又サレツ、アルノデゴザイ
マシテ、御意見ノ點ハ十分拜聽致シマシテ、
其ノ方ノ參考ニ致シタイト思ヒマス

○男爵黑田長和君 此ノ智能ノ検査ト云フ
コトガアリマスケレドモ、私ハ體力ト云フ
モノ中ニ人間ノ腦力ト云フモノヲ含ム、ト
云フヤウナ意味デ智力ト云フモノヲ検査ノ
項目ノ中ニ御加ヘニナツタト云フ御説明ヲ
承ツタト思ヒマシタガ、サウデアリマスカ
マス

○政府委員(佐々木芳遠君) 左様デゴザイ
マス

○齋藤万壽雄君 此ノ第七條ノ命令案ノ中
ノ其ノ第二デアリマスガ、體力検査ハ概
ネ五月乃至九月ニ於テ之ヲ施行ストアリ
マスガ、此ノ期日ハドウ云フ關係デ御定メ

ニナツタノデアリマセウカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 此ノ法ノ要求シマスル所ハ體力検査ヲヤリマシテ、ソウシテ色々指導、指示等ヲ致スノデアリマシガ、年度初メニ大體検査ヲ了シマシテ、サウシテ管理ヲ致サウ、斯ウ云フ意味デマア年度ノ初メノ方ニ致シタノデアリマシガ、尙學校方面トモ十分連絡ヲ執ル必要ガアリマスルノデ、文部省ト協議ヲ致シマシテ、概ネ五月カラ九月迄ノ間ニ之ヲシタイト云フ積リデ決メテアルノデアリマス

○齋藤万壽雄君 此ノ五月ト云フノハ農村關係カラシマス、五、六月ノ二箇月ハ非常ニ農繁期デアリマスノデ、農村方面ノ方カラ考ヘマス、此ノ二箇月ハ止メテ戴クヤウニシタラ大變宜イデヤナイカト思ヒマス、サウ云フヤウニ御變更ニナル御意思ハザイゴマセヌカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 五月カラ九月迄ノ間ニ其ノ地方々々ノ事情ニ應ジマシテ、比較の各方面トモ支障ノナイ時期ヲ選バウト斯ウ思ツテ居リマス

○委員長(子爵野村益三君) 外ニ御質疑ガナケレバ次ニ移リタイト思ヒマス、第八條○政府委員(佐々木芳遠君) 本條ハ體力手帳ノ交付及ビ之ガ保存、提示ノ義務並ニ其ノ義務者ヲ規定シタノデゴザイマス、體力手帳ノ記載事項、記載者、交付方法等ニ關シマシテハ勅令デ規定致シ、提示スベキ場合ハ命令ヲ以テ定メル積リデゴザイマス

○子爵立花種忠君 此ノ間モ委員會デ申上ゲタカト思ヒマス、重複致スカモ分リマセヌガ、此ノ勅令案ノ要綱ヲ見マス、其ノ結果ヲ體力手帳ニ記載シ、之ニ署名スルコトト書イデアリマス、私心配スルノハ

此處ナンデス、此ノ醫者ガ診タ結果ヲ體力手帳ニ記載スルト云フコト其ノモノガドノ位ニ書カレカ知レマセヌガ、ソレヲ見タ所謂患者デアリマスカ其ノ被管理者、若シクハ保護者ガ、其ノ病氣ニ依ツテハ非常ニ精神ノ打撃ヲ受ケルノデハナイカ、其ノ爲ニ却テ惡結果ヲ來タスノデヤナイカト云フ、其ノ杞憂ガアルノデアリマスガ、此ノ體力手帳ニ記載スルト云フノハドノ位ノ程度ニ御書キニナルノデスカ、若シモハッキリ病名其ノ外ヲ書クトスルナラバ、其ノ被管理者ガ見ルトカ、被管理者ガ保管スルト云フコトハドウモ面白クナイノデ、寧ロ保護者ニ秘密ニ之ヲ保管セシメ、サウシテ療養ノ方ニ専心セシメタルト云フノハ、ソレハ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、ソレハドウ云フ風ニ御書キニナル御考デアリマセウカ、御分リノ所ヲ……

○政府委員(佐々木芳遠君) 御尤モナ御意見デゴザイマシテ、先般モ御趣旨ニ副フヤウニ御答ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ手帳ノ記載方法ハ非常ニ大事ナコトデアリマシテ、殊ニ其ノ秘密ヲ要スル事項トカ、或ハ本人ノ精神ニ衝動ヲ與ヘルト云フヤウナモノノ記載事項ト云フモノハ最モ慎重ヲ要スルト思ヒマス、目下專門委員十分研究シツ、アルノデアリマス、御趣旨ノ所ハ十分拜聴致シマシタ

○男爵黒田長和君 チョットツレデハ、今其ノ專門委員ノ研究ノ結果ニ依リマシテ細則ヲ御作りニナル譯デアリマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 細則ト申シマス、記載方法ヲ研究致シマシテ、或ハ符牒ヲ用ヒルヤウニ相成リマス、或ハ記載シナイ方ガ宜イト云フコトニナリマス

記載シナイト云フコトニナリマス、要スルニ此ノ本人ノ體力ニ惡結果ヲ與ヘテハイケマセヌノデ、此ノ點ハ指導ノ場合モサウデアリマスガ、體力手帳ニ記載スル場合ニ十分注意ヲ致シタイト存ジテ居リマス

○男爵黒田長和君 其ノ御趣旨ハ能ク分ツテ居リマスケレドモ、是ハ何カ規定ガナイト、アナタハサウ御考ヘニナツテ御始メニナツテモ、ソレハ到底サウ云フ風ニ行カナイコトモアルト思フノデアリマスガ、我々審議スル者ニナルト非常ニ危ク思ヒマス、サウ云フコトヲキチント是カラ先、專門委員ノ研究ノ結果御決メニナル譯デアリマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 決メタルデゴザイマス

○政府委員(曾我梶松君) 只今ノ御質問ニ御答申上ゲマス、記載致シマス此ノ事項ノ詳細ニ付キマシテハ施行令決メタル積リデゴザイマス、ソレカラ尙其ノ事項ノ具體的ノ記載方法ニ付キマシテハ、管理醫ニ對スル體力手帳ノ記載標準ト云フヤウナモノヲ作りマシテ、ソレヲ能ク事前ニ了解ラシテ置イテ貰ヒマス、サウシテ只今御心配戴キマシタヤウナコトニ付キマシテハ、惡影響ヲ及サナイヤウニ取扱ハスト云フコトニ十分注意シテ行ク積リデゴザイマス

○男爵黒田長和君 是ハ此ノ間伺ヒマシタガ、モウ一遍確メテ置キタイノデスカ、此ノ指導ノ方ノ大方針ト云フモノヲ御作りニナル譯ダラウト思フノデスカ、サウ致シマセヌト、オ醫者ニ依ツテハ丁寧ニスルトカ、雜ニスルトカ云フコトニナリマス、大體ノドウ云フコトヲ注意スルト云フコトヲ御決メニナツテ居ルノデスカ、ドウデスカ

○政府委員(曾我梶松君) 御手許ヘ差上ゲテ居リマスと思ヒマスノデゴザイマスガ、準備調査ヲ十三年、十四年等ニ於テ致シマシタ時ニ、ソレニ從事致シマス醫者ニサウ云フ事柄ヲ取扱ハスベキ標準ト致シマシテ検査者必携ト云フモノヲ作りマシテ、其ノ中ニ大體注意スベキ事項ハ詳細ニ網羅致シテ居リマスノデ、之ヲ今度ハ其ノ輕重ニ從ヒマシテ或ハ施行細則、或ハ記載標準ト云フヤウナモノヲ選リ分ケマシテ、サウシテ選定スル積リデ居リマス

○男爵黒田長和君 サウ致シマスルト、大體ハ是ハ消極的ノ指導デ、即チ何處ガ惡イカラドウシナクチヤイケナイト云フ指導デスカ、私ノ伺ヒタイノハ、ソレ程病的デナイ體ノ人デ、例ヘバドウ云フ「スポーツ」ヲオ前ガヤレバ必ズ是ハ非常ニ良クナルト云フヤウナ指導デス、良イ體ノ人ガ「スポーツ」ナドデ鍛ヘレバ一層非常ニ良クナルダラウト思ヒマス、弱イ體ノ人ガ過勞ニナレバ非常ニ重イ病氣ニナルト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、其處ガ非常ニ大事ナコトデヤナイカト思ヒマス、別ニドウモナイ人ニ向ツテサウ云フ指導ト云フコトハ是ニハドウモ行ハレナイヤウニ存ジマスガ、其處ハ如何デスカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 此ノ法律ノ目的ハ大體疾病醫療、サウ云フ消極的方面ノ指導ガマア法文ニ表ハサレテ居ルノデアリマスガ、今御話ノ丈夫ナ者、無病息災ナ者ニ對スル體育ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ別ニ行政的ニ體育運動ヲ獎勵スル、或ハ體育運動ノ中デドウ云フモノニ向ケバ宜イカト云フコトハ、是ハ管理ノ仕事ノ範圍外ダト思フノデアリマス、是ハ寧ロ體育運

動ノ指導者ノ方面ノ事柄デゴザイマシテ、其ノ方ハ勿論所謂心身ノ鍛鍊ト云フ方ハ別ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵立花種忠君 此ノ間山川男爵ガ御質疑ニナツタコトニ付テノ御答辯ヲ、實ハ忙シクデマダ讀ンデ居リマセヌカラ二重ニナルカモ知レマセヌガ、山川男爵ノ御杞憂ノアル所ハ私ガ申シタト同ジコトデ、ソレデ寧ロ此ノ手帳ヲ管理人ガ保管シタ方ガ宜クハナイカト云フヤウニ仰シヤツタノデナイカト存ジマス、私ハ此ノ條文ニアル處ノ被管理者ニ、若クハ保護者デスガ、被管理者ニ保管サセルト云フコトガ面白クナイデヤナイカト斯ウ思フノデスカラ、管理人カ或ハ保護者ガ之ヲ保管スルノガ適當デアツデ、被管理者ニ保管サセルト云フコトハ之ヲ削除サレタ方ガ宜クハナイカト斯ウ思フノデスガ、如何デセウカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 御説デアリマスガ、此ノ體力検査ノ結果體力ノ現狀ト云フモノヲ自分モ知ツテ置ク必要ガアル、所謂被管理者モ知ツテ置ク必要ガアルマスシ、又保護者モ同時ニ知ツテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス其ノ自分ノ體力ノ現狀ニ對シテ深キ認識ヲ持ツテ、サウシテ自發的ニ其ノ體力ノ向上ヲヤラウト云フ意思ヲ働カス必要ガアルト思フノデアリマス、又保護者ニ對シマシテハ此ノ未成年者ノ體力ヲ向上サス、矢張り關心ヲ持タセル必要ガアルト思ヒマスノデ、兩方共被管理者又ハ保護者ニ其ノ手帳ヲ持タシメル方ガ適當ト存ジマス

何カ符號トカ符牒デ書クナシテ云フヤウナコトガアツタ場合ニ於テ、被管理者ニ一體ハ何デスカト言ハレタ場合ニ、ソレハ説明ガ出來ナイ、モウ其ノコト一ツガ所謂患者ト云ヒマスカ、被管理者ニ或衝撃ヲ與ヘル、況ヤソレガ保護者ガ知ツテ居スシテ、保護者ニハ醫者ガ話ヲシテ、家ニ歸ツテ父ヲ攻メテ、實ハ御前ハ、此ノ印ハ結核ダト云フコトニナリマス、ドウモ如何ニ符號デ書イテモ何デモデス、被管理者其ノ者ニ持タセルト云フコトハ、一面御説明ノ通りト思ヒマスケレドモ、他面カラ見ルト、ドウモ面白クナイヤウニ思フノデスガ如何デスカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 先程符號云々ト申シマシタノハ、サウ云フコトニナルト確言シタ譯デハナイノデス、今研究シテ居ルノデスガ、兎ニ角記載スル場合ニハ被管理者ニ衝撃ヲ與ヘナイヤウニスル積リデゴザイマス、或ハ結核ト云フヤウナ場合、結核ヲ表示スルヤウナコトヲ致シマシテ、サウシテ其ノ被管理者ガ非常ニガツカリシテ、却ツテ體力ガ衰ヘルト云フヤウナコトヲ避ケルヤウニ致シタイト存ジマス

○男爵山川建君 此一審此問題デ心配ニナル病名ハ矢張り結核ダト思フノデアリマス、性病ノ方ハ是ハ自ラ招イタ場合ガ多イノデスカラ、是ハ別ト致シマシテ、結核ノ場合、御醫者サンガ、是ハ結核ダト判斷スルノハ普通ノ診察ト、反應検査ト、ソレダケデ結核ト云フコトヲ御認定ナツテ、手帳ニ何モノカヲ御書キニナルノデスカ、結核ト判斷ヲ御シニナル際ニハ、更ニ進ンデ「レントゲン」検査トカ、喀痰検査トカ、十分ナル所謂御検査ヲ爲スツテ後ニ所謂記載ヲ御シニナルノデスカ、其ノ點ヲ承ハツデ置キマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 御説ノヤウニ臨床的ノ診斷ヲ致シテ、サウシテ疑ヒガアルト云フヤウナ場合ニハ、更ニ専門醫ヲシテ精密検査ヲサセテ、サウシテ決定ヲスルノデアリマス、勿論「レントゲン」ノ如キモ用ヒシメル積モリデゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 第九條管理醫ノ問題デス

○政府委員(佐々木芳遠君) 本條ノ第一項及第二項ハ國民體力管理醫ノ設置及選任並ニ其ノ職務ノ内容ヲ規定致シ、第三項ハ醫師又ハ齒科醫師ニ國民體力管理醫タルノ義務ヲ課シタノデアリマス、之ヲ義務ト致シマシタノハ、醫師又ハ齒科醫師ガ體力管理ニ關シマシテ重要ナ役割ヲ持テ居リマスルノト、一面本制度ノ運用ニハ相當多數ノ醫師及齒科醫師ヲ必要トシマスルノデ、正當ノ事由ナクシテ國民體力管理醫タルコトヲ拒ムコトヲ得ナイトシタノデアリマス、併シナガラ之ニ依リマシテ著シク一般ノ治療ニ支障ヲ生ゼシメ、又ハ甚ダシク業務ヲ妨ゲル、斯クノ如キコトハ成ルベク之ヲ避ケル方針デゴザイマス、尙第四項ハ國民體力管理醫ニ關シマシテハ選任方法、給與、服務等ノ規定ヲ必要ト致シマスルノデ、是等ハ別ニ勅令ヲ以テ定メルコトト致シマシタ

○男爵黒田長和君 チョット伺ヒマスガ、是ハ先日モチョット伺ヒマシタノデスガ、此ノ「正當ノ事由ナクシテ」ト云フ「正當ノ事由」ト云フ中ニ、此ノ頃ハドウモ私ハ患者ガ多クテナカ、忙ガシイ、業務ガ忙ガシイノデ御斷リ致シマス、斯ウ云フコトヲ申立テタナラバ、ソレハ「正當ノ事由」デアリマセウカ

○政府委員(佐々木芳遠君) ソレハ「正當ノ事由」ノ中ニ入ラナイト思ヒマス、併シナガラサウ云フドウシテモ、開業醫ヲヤツテ居ル其ノ附近ニ傳染病等ガ發生シタ、其ノ人ガ他ニ出張スル爲ニ其ノ附近ノ傳染病ハ益、猖獗ヲ來シテ收拾ガツカスト云フヤウナ場合ニハ、是ハ選任シナイ積リデゴザイマス

○男爵黒田長和君 ドウモ先日モ伺ヒマシタ通りニ、此ノ法律ハ無論百年ノ大計デ是ハ臨時のモノデハナイノデ恆久的ノモノデアル、一ツノ儼然タル制度ニナルベキモノデアル、ソレナノニ、醫者ト云フ堂々タル業務ヲ持ツテ其ノ所ヲ得テ業務ニ勵ンデ居ル者ニ對シテ、其ノ自分ノ業務ガ忙ガシイカラ出ラレナイト云フ理由ヲ申立テルコトガ出來ナイ、ソレデハ御許シガ出ナイト云フコトニナリマス、ドウモ立憲政治下ニ於テ、サウ云フコトノ宜イモノデアルカドウカト云フコトガ問題ニナリハシナイカ、即チ唯實費ノミヲ與ヘテ、サウシテ努力ト時間ニ對シテハ何ニモ報酬ヲ與ヘナイ、即チ只使フト云フコトノ法律ヲ作ルト云フコトガ、立憲政治下ニ於テ宜イコトデアルカ悪イコトデアルカト云フ議論ガ起リハシナイカ、サウ云フコトニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 先程モ御説明申上ゲマシタ通り、此ノ國民ノ體力ヲ今相當見ナクチャナラス、向上セシメナクチャナラスト云フノハ現在刻下ノ非常ニ緊急ナ事務ダト思ヒマス、ソコデ色々研究致シマシタ結果、國民體力管理制度ト云フモノガ最モ時宜ニ適シタモノナリト云フ結論ヲ得マシテ、只今御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマス

ガ、勿論開業醫トシテ其ノ業務ニ精勵シマ
スコトモ國家ノ爲ニ御奉公ノ道デアル、併
シナガラ又此ノ管理醫制度ニ參與シ、此ノ
管理醫制度ノ爲ニ力ヲ盡スト云フコトモ重
大ナ國家ニ對スル御奉公タルノミナラズ、
醫業ヲナス者、醫師タル者ハ國民體力ノ向
上ト云フコトニ貢獻スベキ使命ヲ持ッテ居
ルモノト存ジマス、デアリマスカラ此ノ制
度ニ義務トシテ參加スルト云フコトハ當然
デハナイカト思フノデアリマス、併シナガ
ラ唯、國家ガ之ヲ只使フノデハゴザイマセ
ヌノデ、先達テ申上ゲマシタ通り實費制度
ト云フコトハ少シ語弊ガアリマスガ、少ク
トモ損ハカケナイ程度ノ手當ヲ出シテ置ク
ト云フ積リデゴザイマス、其ノ手當ノ程度
ハ、四五十人ノ體力検査ヲヤリマシテ、五
圓程度ノ豫算ヲ見テ居ルノデゴザイマス

○男爵黒田長和君 今ノ御話ハ、少シモ私
ノ伺ッタコトヲ解決シテ居ラナイノデアリ
マスガ、非常ニ是ハ深い問題デ、近頃ノヤ
ウニ事變下ニ於ケル經濟上ノ事等ニ於キマシ
テ、非常ニ手取り早ク效果ヲ擧ゲルヤウナ
コトヲシナケレバナラヌト云フヤウナ考
依ッテナカ、無理ナ政治ガ行ハレテ居リ
マス、ソレデサウ云フコトハ現在ニ於テ國
家トシテ非常ニ憂フベキコトと思フノデア
リマス、併シ此ノ問題ハ、サウ應急的ノ問
題デヤナイ、非常ニ肝要ナ問題デアリマス
ケレドモ、是ハ永ク一ツノ大事ナ制度トシ
テ持ッテ行カナケレバナラナイノデアリマス
ガ、ソレデアリマスカラ此ノ兎ニ角努力ト
時間ヲ只取上ゲルト云フヤウナコトガ、
政治トシテ餘リ感服シナイ政治デヤナイカ
ト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、ソレ
デ伺ッタノデアリマスガ、ナカ、是ハ深い

問題デ一朝一夕ニ御研究ニ、特ニ御研究ニ
ナツタ方デナケレバ急ニ御答ヲ承ルコトハ無
理カモ知レマセヌ、是ハ是デ懸案ニシテ置
キマス

○國務大臣(吉田茂君) 其ノ問題ニ付キマ
シテハ、私ノ大體考ヘテ居リマスルコトヲ
申上サシテ戴キマシテ、此ノ法案提出ノ心
持ヲ御理解願ッテ戴ケマスレバ仕合セダト
考ヘルノデアリマス、ドウシテモ此ノ體力
管理法案ヲ實施致シマスルニ付キマシテハ
管理醫ト云フモノガ一番大切デアルコト
ハ、先達テ來ノ御論議ニモ能ク現レテ居ル
ヤウニ拜聴致シテ居ルノデゴザイマス、本當
ノコトヲ申シマス、完全ニ此ノ仕事ヲシ
テ行ク爲ニハ專任ノ管理醫ニ相當ノ報酬ヲ
差上ゲマシテ、可ナリ多數持ッテ居リマスル
コトガ有益デアリ、必要ナコトと思フノデ
アリマス、ソレハ今日ノ實情ニ於テ又當初
カラサウ云フコトヲ期待スルト云フコトハ、
用意ノ上カラ申シマシテ今日ノ醫師ノ數、
其ノ分布等カラ考ヘマシテ、容易ニ期待シ
得ナイコトデゴザイマス、一番人手ノ要リ
マスノハ體力検査ノ爲ニ働イテ戴ク管理醫
ナノデゴザイマス、是ハ年中或ハ長期ニ互
リマシテ御迷惑ヲ御願ヒスルト云フコトデ
ナクシテ、検査期間、申サバ奉仕的ノ御心
持デ此ノ仕事ヲ手傳ッテ戴クト云フコトデゴ
ザイマスガ、單純ニ御自分ノ仕事ガ忙ガシイ
カラト云フコトデ斷リ得ルト云フコトデアッ
タノデハ、ドナタモ忙ガシイコトハ忙ガシイノ
デアリマスカラ、サウ云フコトデアッタノデ
ハ十分ニ行ハレナイデアラウト同時ニ醫師デ
アラレル方々ハ、ソレガ一ツノ開業醫ト云フ
ヤウナ名前前デ呼バレテハ居リマシテモ外ノ
職業トハ違フノデアリマシテ、公務的ノ要

素ヲ極メテ多分ニ持ッテ居リ、將來ハ益、
サウナラネバナラヌコトと思フノデアリマ
ス、又事實最近醫界ノ傾向ハ左様ナ方向ヲ
明カニ現シテ居ラレ、國家ノ爲ニ、社會
ノ爲ニ盡サネバナラヌト云フ御心持ガ隨所
ニ見受ケラレルノデゴザイマスノデ、日常
ニ類スルヤウナ僅少ノ手當ヲ上ゲマシテ、
醫師ヲ使フ勞務ヲ買フト云フヤウナコトデ
ナクシテ、ソレハ本當ニ手當トシテ不十分
ナガラ差上ゲルノダト云フ心持ニシテ置イ
テ、一方忙ガシイカラ、商賣ノ爲ダカラ斷
ルト云フコトデハナクテ、皆様が喜ンデ、
拒ムコトヲ得ズト云フ條文ガアルカラ斷ラ
ナイト云フノデナクシテ、ソコニ醫師會ト
完全ナル提携ト云フモノガ出來テ、此ノ圓
滿ナル法ノ運用ト云フモノヲヤッテ行クト
云フコトガ必要デアアル、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、又現ニ今日管理法案ニ對ス
ル醫界全般ノ方々ノ心持ハ、誠ニ壓制デ是
ハ立憲政治ノ下ニ於テ怪シカラヌコトダト
云フ御考ハ現實ニナイコトダト思フノデア
リマス、此ノ法案ノ實施ト云フコトニ付テ
ハ出來ル限リ一ツ手傳ッテヤラウト云フ御
心持ナンドスカラ、ソコハ矢張り日本ノ國
體ト申シマスガ、大キク言ヘバ國體、日本
國民トシテ、殊ニ相當ノ教養ヲ受ケラレマ
シタ醫師各位ノ御協力ガナケレバ出來ナイ
ト思フノデアリマス、此ノ拒ムコトヲ得ズ
ト云フ強制規定ガアル爲ニ仕方ナシニヤル
ト云フノデハナイト思ヒマス、斯様ニ考ヘ
テ居ルハデアリマス、是ハ提案ノ心持デア
リマス、決シテ壓制ヲ是行ハウト云フヤ
ウナ趣意デ此ノ條文ガアルノデナイト云フ
コトヲ御諒承置ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵黒田長和君 御言葉ヲ伺ヒマシタ
ガ、第一醫者ハ、醫術ハ仁術デアル、ダカ
ラ是カラ先モ公共ノ爲ニ進ンデヤラナケレ
バナラヌ、ソレダカラ斯ウ云フコトヲシテ
モ一向差支ナイデヤナイカト云フヤウナ風
ニ聞エマス、即チソレハ御醫者サン自身ノ
心得デアッテ、醫者ノ方カラ進ンデ仁術デア
ルカラシテ報酬ヲ取ラナイデ診察シテヤラ
ウト云フヤウナコトハ、其ノ當人カラ言ハ
レタナラバ非常ニ立派ナコトデアリマス
ケレドモ、外カラ之ヲ強ユルト云フ形ヲ取ル
ト云フコトハ非常ニ避ケタイヤウニ思フ、
サウ云フ仁術ヲヤル御醫者サンダカラ報酬
ナシデヤラシテモ宜イト云フヤウナ風ニ考
ヘルト云フコトハ、是ハ私ハドウモ間違ッ
コトデヤナイカト思ヒマス、ソレカラ今ノ
御話デアッテ見ルト、拒ムコトヲ得ズト云フ
ヤウナ嚴メシイ文句ガ法文ニハナクトモ、
日本ノ御醫者サンハ立派ナ精神ヲ持ッテ、公
ケニ盡ス心持ヲ持ッテ居ルノデ、サウ云フ嚴
メシイ言葉ハ採ル必要ハナイノデ、即チ斯
ウ云フ嚴メシイ條文ガアルカラ御醫者サン
ハ盡スノデヤナイノデ、大體サウ云フ立派
ナ心持ヲ持ッテ居ルノダカラ盡スノダト云
フ今ノ御言葉ニ對シマシテハ、ソレナラバ何
故斯ウ云フ餘リ嚴メシイ文句ヲ御使ヒニ
ナツタカ、ソレガ爲ニ非常ニ是ハ壓制ノヤウ
ニ聞エタイケナイノデ、之ヲ依頼スルト云
フヤウナ言葉ヲ使ハレテモ、ソレハチヤン
ト行ハレルノデアアルカラ、サウ云フ法文ノ
體裁上非常ニ惡イ文句ハ御使ヒニナラナイ
デモ宜イデヤアリマセヌカト、斯ウ云フ議
論ニナリハセヌカト思フノデス、ソレデ相
當ナ事由ノ中ニ、普通ナラバ出ラレマス
ケレドモ、此ノ頃ハ非常ニ忙ガシクテ、患者
ガ多イカラ、業務ガ忙ガシクテ出ラレマセヌ

ト云フコトハ是ハ信ジテモ宜イノデヤナイカ、ソシテコトヲ言フト誰ダツテ忙ガシイカラト云フコトハ、是ハコソ醫者ノ人格ヲ非常ニ安ク見タコトニナツテ、非常ナ無禮ナ話デヤナイカト云フ風ニモ考ヘラレルノデス、今ノヤウナ御話デスト、拒ムコトヲ得ズト云フヤウナ嚴メシイ文句モ要ラナイシ、正當ナ事由ト云フ中ニモ、忙ガシクテドウモ上ルコトガ出来マセスト斯ウ言ハレタラソレモ許シテヤル、併シ其ノ代リ本當ニサウデナイ場合ハ、皆喜ンデ出テ來ルト云フコトニナツタ方ハ非常ニ宜イヤウニ思ハレマスタ、マア併シ是ハ能ク御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 私ノ申上ゲタコトガマダ十分ナ御理解ヲ得ナイヤウデゴザイマスガ、決シテ只今御話ニナツタヤウナサウ云フ醫者ヲ侮辱シテ斯ウ云フモノヲ入レテアル、是ハ無禮ナ條文ダト云フヤウナ心持デヤツデアアルコトデナイコトダケハ申上ゲテ置キマス、又何レ此ノ條文ト云フモノガ問題ニナリマスルナラバ、其ノ節色々御教ヲ得タイト思ヒマス、其ノ事モ十分考ヘテ置キマス

○光行次郎君 此ノ條文ニ罰則ガナイヤウデスガ、デョット見當ラヌノデスガ、是ハドウ云フ譯デセウカ、若シ故ナクシテ開業醫タルモノガ拒ンダ場合ニハ……

○國務大臣(吉田茂君) 罰則ノアリマセヌコトハ、丁度黒田男爵ノ御尋ノヤウナ餘リニ罰ヲ以テ脅カシテ之ヲヤツテ行クト云フコトデナシニ、申サバ拒ムコトヲ得ズト云フコトガ一ツノ道義的法律的ナ義務ト云フ程度デ十分ニ御協力ガ得ラレルダラウト思ヒマス

○光行次郎君 サウ致シマスト云フト、此ノ正當ノ事由ト云フコトハ、詰リ厚生省ノ方デ御定メニナル譯ニナルノデスネ、正當ノ事由デアルカナイカト云フコトハ、之ヲ罰則ヲ附シテ置キマスと云フト、裁判官ノ認定ニ依ルト云フコトニナリマスカラ、今黒田サンノ御尋ノヤウナ場合モ、或場合ニ於テハ正當ノ事由ニナルカモ知レヌト私ハ思フノデスガ、其ノ邊ノ所ハドウデスカ

○國務大臣(吉田茂君) 正當ノ事由ニナルカナラヌカト云フコトハ、地方裁判所ニ持出シテ、御判斷ヲ願フト云フヤウナ左様ナコトハ却テ不當デアラウト云フヤウナ、申サバ不徹底ト言ヘバ不徹底カモ知レマセスタ、左様ナ心構ノ下ニ罰則ノ付イテ居ラナイヤウナ……斯様ナ罰則ノ附イテ居ラヌ理由ハ、御承知ノ通りニ色々行政ノ運用ノ上ニハアルノデアリマス、出來レバ此ノ條文アルガ爲ニ拒マナイト云フノデナクシテ、黒田男爵ノ御尋ノヤウニ、此ノ條文ハアラウガアルマイガ拒マナイト云フコトガ望マシイノデアリマスガ、一ツノ基準、是ハ公ケノ務メダト云フコトヲ示ス意味ニ於キマシテ此ノ條文ガアリマスコトガ其ノ效用ヲナスモノデアアル、斯様ナ當局ノ考デ此ノ程度ノ任務規定ニシテアリマス

○男爵山川建君 私ハ、此ノ問題ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、一體今日醫者ニナル志願者ガ非常ニ少クナツタ、之ニ付キマシテハ先日文部當局カラ色々御話ガアリマシタ、工科方面ニ希望者ガ非常ニ多クナツタ、是モ確カニ一ツノ原因ダト思フノデアリマス、又割合ニ他ノモノニ就職致シマスヨリモ相當長イ期間ヲ要スルト云フコトモ、醫學者ニ

ナルコトヲ非常ニ臆劫ニスル一ツノ原因ニナルト思フノデアリマス、大學ナリ、専門學校ナリヲ出マシテ、サウシテ先ヅ一人前ノ醫者トシテ醫學士ノ稱號ヲ受ケマス迄ニハドウシテモ四五年、七八年掛カルノデアリマスルカラ、他ノモノニ比較致シマシテ、非常ニ長イ修業年限ガ學校生活以外ニアルト云フコトモ言ヘルト思フノデアリマス、ソレト竝ビマシテ、更ニ醫學生ノ段々少クナリマス原因ハ、是ハ昔ノ醫者ト今日ノ醫者ト比ベマスと、今日ノ醫者ハナカク生活ニ苦シイト云フコトガ一ツノ原因デアラウト思フノデアリマス、是ハ醫者ト云フ職業ニ附隨致シマシテ、色々社會政策的ノ施設ガ行ハレル、ソレガ爲ニ昔ノ御醫者サン程生活ガ安定シナクナツタト云フコトハ、確カニ私事實ノヤウニ思フノデアリマス、併シナガラ申上ゲル迄モナク、醫者ハ大切ナ國民ノ生命ヲ預ツテ居リマス者デアリマスカラ、相當ニ醫者ニ人材ヲ蒐メマスコトハ、是ハ國家的の見地カラ見テ非常ニ必要ナコトデアリマス、從ツテ醫者ガ仁術デアリマスレバアリマス程、醫者ノ社會生活ト云フモノニ極端ニ脅威ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ大イニ避ケナケレバナラナイ問題ダト思フノデアリマス、從ヒマシテ内務省ノ衛生局、今日ノ厚生省ニ於キマシテ、醫者ノ餘リ餘計殖エマスコトハ御好ミニナラナイヤウデアリマス、是ハ私ノ只今申上ゲマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、御尤モナ御話ダト思フノデアリマス、醫者ガ餘リ餘計ニナリマスト、生活權ヲ脅スト云フ關係デ醫者ニ人材ガ蒐ラナイ、ソレデハ國民ノ人命ヲ預カルト云フ上ニ於テ缺ケル所ガアルト云フ意味合カラ、厚生省ハ醫者ガ、サウ餘計ニナルコ

トヲ御好ミニナラナイト云フコトハ、監督官廳トシテ當然ノ御處置ト考ヘテ居ルノデアリマス、今日醫籍ニ登録サレマシタ者ガ、ドノ位アルカト云フコトノ御尋ヲ先日致シマシタノデアリマスガ、六萬二千五百ト云フ御話デアリマス、私モ大體其ノ見當ノ數字ダト云フコトヲ實ハ考ヘテ居タノデアリマス、醫者ハ今後文部省デ臨時醫學專門部ト云フモノヲ昨年カラ増設致シマシタカラ、段々ト醫者ノ數ハ殖エテ行クノハ當然デアリマス、併シナガラ是トテモ年ニ千トカ或ハ千足ラズノ醫者ガ殖エマスノデ、サウ餘計ニ立ツテ殖エル譯デハナイノデアリマス、マア日本ニ於キマシテハ、サウ云フ狀況ダト思ヒマス、繚ツテ醫者ノ分布狀態ヲ今日考ヘテ見マスルト、六大都市、六大都市ニ於ケル醫者ノ分布狀態ハ、外國ノ「ロンドン」デアルトカ或ハ「ニューヨーク」デアルトカ云フヤウナ一流ノ都市ニ比ベマスト、人口一人當リニ付テ醫者ハ非常ニ餘計居ルノデアリマス、處ガ郡部ニ於キマシテハ、今日日本ノ醫者ノ數ト云フモノハ外國ト比ベマシテ分布ノ密度ガ薄イノデアリマス、サウ云フヤウナ狀態ニアリマシテ、其ノ結果無醫村ト云フヤウナモノモ二千有餘アルト云フヤウナ狀況デアリマス、サウ云フヤウナ譯デ東京ニハ割合ニ醫者ガ餘計居リマスケレドモ、我が國ト致シマシテハ、地方ニハ醫者ガ餘リ多クナイヤウナ現狀デアアルノデアリマス、併シナガラ先程申上ゲタヤウナ譯デ、今日急ニ醫者ヲ殖ヤスト云フコトハ、色々ノ意味合カラ云ツテ、宜クナイコトト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ體力管理法ノ關係ダケデ申シマスタラバ、將來ハ三千二百萬人ニ付テ検査ヲ

ナルコトヲ非常ニ臆劫ニスル一ツノ原因ニナルト思フノデアリマス、大學ナリ、専門學校ナリヲ出マシテ、サウシテ先ヅ一人前ノ醫者トシテ醫學士ノ稱號ヲ受ケマス迄ニハドウシテモ四五年、七八年掛カルノデアリマスルカラ、他ノモノニ比較致シマシテ、非常ニ長イ修業年限ガ學校生活以外ニアルト云フコトモ言ヘルト思フノデアリマス、ソレト竝ビマシテ、更ニ醫學生ノ段々少クナリマス原因ハ、是ハ昔ノ醫者ト今日ノ醫者ト比ベマスと、今日ノ醫者ハナカク生活ニ苦シイト云フコトガ一ツノ原因デアラウト思フノデアリマス、是ハ醫者ト云フ職業ニ附隨致シマシテ、色々社會政策的ノ施設ガ行ハレル、ソレガ爲ニ昔ノ御醫者サン程生活ガ安定シナクナツタト云フコトハ、確カニ私事實ノヤウニ思フノデアリマス、併シナガラ申上ゲル迄モナク、醫者ハ大切ナ國民ノ生命ヲ預ツテ居リマス者デアリマスカラ、相當ニ醫者ニ人材ヲ蒐メマスコトハ、是ハ國家的の見地カラ見テ非常ニ必要ナコトデアリマス、從ツテ醫者ガ仁術デアリマスレバアリマス程、醫者ノ社會生活ト云フモノニ極端ニ脅威ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ大イニ避ケナケレバナラナイ問題ダト思フノデアリマス、從ヒマシテ内務省ノ衛生局、今日ノ厚生省ニ於キマシテ、醫者ノ餘リ餘計殖エマスコトハ御好ミニナラナイヤウデアリマス、是ハ私ノ只今申上ゲマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、御尤モナ御話ダト思フノデアリマス、醫者ガ餘リ餘計ニナリマスト、生活權ヲ脅スト云フ關係デ醫者ニ人材ガ蒐ラナイ、ソレデハ國民ノ人命ヲ預カルト云フ上ニ於テ缺ケル所ガアルト云フ意味合カラ、厚生省ハ醫者ガ、サウ餘計ニナルコ

行フノダト云フヤウナ御話デアル、今日醫
者ノ數ハ幾ラカト云フト、六萬二千五百、
サウシテ將來十年間ニドノ位殖エマスカ、
恐ラクハ一萬トハ殖エナイト思フノデアリ
マス、又餘リ殖ヤシテハ國民體力管理ノ上
カラ云フト結構デアリマスガ、先程申上ダ
タヤウナ理由ニ依リマシテ、餘リ醫者ガ殖
エルト云フトハ、日本ノ爲ニドウカト云
フ考ヲ持ッテ居リマス、從ッテ此ノ體力管理
ノ關係ニ於ケル醫者ヲ殖ヤシタイト云フ希
望ト、一般醫者ニ對スル行政ノ上カラ云ッ
テ餘リ殖ヤシタクナイト云フ恐ラク御考ガ
アラウト思ヒマスガ、其ノ點ニ於テ此ノ二
ツガ矛盾スルヤウニ思フノデアリマス、此
ノ點ヲ一ツ厚生省カラ伺ッテ置キタイト思
ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 厚生省トシテハ醫
者ノ殖エルコトヲ好マナイ、サウ云フ風ニ
考ヘテ居ルト云フ御認定デゴザイマスガ、
必ズシモサウ云フ風ニ考ヘテ居ラナイノデ
アリマス、優良ナ御醫者サンガ適當ナ分布
狀態ノ下ニ、丁度御質疑ノ最後頃ニ御話ニ
ナリマシタヤウニ必要ニ應ジテ各方面ニ分
布サレテ行キマスノハ多々益、辨ズル譯デ
アリマス、左様ナ意味合カラ御醫者サンガ
殖エテ、ソレガ適當ナ分布狀態ヲ保ッテ行
クト云フトノ爲ニ努メナケレバナラヌト
思フノデアリマス、サウ云フ希望ヲ實現致
シマス爲ニ色々苦心シテ居ル譯デアリマシ
テ、其ノ點ガ恐ラクソコニ矛盾ガアルノデ
ヤナイカト御指摘ニナリマシタ意味合ニナ
ルト思フノデアリマス、大體ノ傾向ヲ考ヘ
テ見マス、私共一體此ノ頃醫師志望ノ人
ガ減ッタト云フヤウナコトニ付キマシテハ、
御指摘ノヤウナ原因ガアルカト思フノデア

リマスガ、時局的ノ意味モ多分ニ加ハッテ
居ルト思ヒマス、私共實際ノ問題ヲ取扱ッ
テ居リマシテ、矢張り時局ノ影響モアリマ
セウガ、最近醫師志望スル人々、或ハ新
タニ學窓ヲ出ラレマシテ醫界デ就職サレ
ルト云フヤウナ人々ノ間ニ、全體ニ於テ御
醫者サンノ入學志望者ガ減ッタト云フト
ト併セ見受ケマラレスコトハ、所謂醫師ノ
使命、仁術ト申シマスカ、醫道ト申シマス
カ、サウ云フ方ニ對スル自覺ト云フモノハ、
若イ御醫者サンナリ、新タニ學窓ヲ出ラレ
ル方ナリ或ハ醫科ニ入ラレル方々ノ間ニ以
前ニ増シテ強ク認メラレル傾向デヤナイカ、
是ハ統計ヲ取ル譯ニイカスコトデアリマス
ケレドモ、左様ナ現象ニ付テハ非常ニ心強
ク考ヘテ居ルノデアリマス、今後段々ト世
ノ中ガ進メバ進ム程、此ノ醫師ノ職分ノ中
ニ開業、營利ト云フヤウナコトヨリハ、益、公
務的ノ要素ノ方ガ現實ニモ殖エテ行カケ
レバナラナインデヤナイカ、今後ノ醫師養成
ト云フトニ付テ其ノコト一ツ根本ニ辨ヘ
テ、文部省トモ十分ナ連絡ヲ取ラシテ戴イ
テ、公ケニ奉ズルト云フトガ醫師ノ使命
トシテ御醫者サンガ養成サレ、又其ノ待遇
ニ於キマシテモ安ジテ左様ニシテ、醫者ノ
持ッ公ケノ職分ト云フモノニ御精進出來ル
ヤウニ工夫ヲシテ參ルト云フトコトガ、今後
ノ醫育ナリ或ハ醫師全般ニ關スル國ノ態度
ナリノ基礎ニナラナクテハナラナイノデヤ
アルマイカ、斯様ナ考ヲ持ッテ參リマスコ
トニ依ッテ、丁度御指摘ニナリマシタヤウ
ナ二ツノ違ッテ矛盾ト云フヤウナコトガ、解
決ガ初メテ見得ルノデハナイカラウカ、サ
ウ云フトコトヲ一ツ大イニ工夫シテ見タイモ
ノダト私トシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、

尙左様ニシテ多數ノ立派ナ御醫者サンガ
國家ノ需要ニ應ズルヤウニ養成サレ、配置
サレルト云フトニ付キマシテ、色々山川
男爵ニモ平素カラ御研究ノ結果ニナリマス
御考ガオアリト思ヒマスカラ、ソレ等ニ付
キマシテハ十分御教ヲ仰ギ、當局ト致シマ
シテモ工夫、立案ノ貴重ノ資料ニサセテ戴
ケバ仕合セト存ジマス

○男爵山川建君 只今厚生大臣ノ御話一々
御尤モデアリマシテ、質ノ良イ又國家社會
ニ奉仕スルト云フ觀念ノ強イ醫師ガ良キ
分布ノ下ニ我ガ國ニアリマスナラバ、是ハモ
ウ非常ニ結構ナコトデアリマシテ、何モ申
ス筋合デハナイノデアリマス、併シ事實ハ
決シテサウデナイノデアリマス、厚生大臣
モ十分私ハ御承知ノコトト思フノデアリマ
スガ、決シテ良キ分布ニ行ッテ居ナイ、今日
ノ醫者ノ數ヲ夥シク増加致シマスルト、質
ノ低下ト云フトハ、是ハモウ爭ハレナイ事
實ト私ハ思フノデアリマス、ソレデ専門ノ
政府委員ノ方ニ實ハ御尋ネシタイノデアリ
マスガ、今後醫者ヲドノ位御増シナッテモ
差支ナイモノカ、醫者ノ分布ノ上カラ云ッ
テ、醫者ガ共喰ニナラズ、ソナニ醫者ガ
藥九層倍ト云フヤウナ、非常ナ儲ケヲスル
ト云フトハ、是ハ別デアリマスガ、御醫
者相當ナ生活ヲシテ、安ジテ仁術ニ服スル
コトガ出來ルト云フ程度ニ於テ醫者ヲ今後
ドノ位御増シニナルコトガ出來ルカ、厚生
大臣ノ御話ガト非常ニ増スコトガ出來ルヤ
ウナ御話デアリマスガ、私ハ現況ヲ能ク御
承知ノ方カラ見レバ、サウ十萬モ二十萬モ
殖シテ宜イト云フ御答ハ得ラレナイト思フ
ノデアリマス、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思ヒ
マス

○政府委員(林信夫君) 私カラ御答申上ダ
テ置キタイト思ヒマス、只今ノ山川サンノ
御質問ニ付キマシテモ、實ハ基準ヲ何處ニ
置クカト云フト大變違ッテ參ルノデアリ
マスガ、先般來文部省ト相談致シマシテ、
御承知ノ通り醫學專門部ヲ置イテ一定數ヲ
養フコトニ致シマシタ當時ノ事情ハチヨッ
ト速記ハ如何カト思ヒマス

○委員長(子爵野村益三君) 速記ヲ止メテ
(速記中止)
○委員長(子爵野村益三君) 速記ヲ始めテ
○政府委員(林信夫君) 醫師全體ノ數カラ
見マス、只今御指摘ニナッタヤウニ、餘ッ
テ居ル所デハ多過ギル程ニナッテ居リマス
シ、足ラナイ分都デハ現在直チニ醫者ノ居
ナイ所トハ申上ダ兼ネマスケレドモ、全國
中約三千五百バカリハ無醫ノ村ニナッテ居
ルヤウナ事情カラ考ヘマス、分布ヲ是正
シタ上デナイト、數ト云フモノハ出テ參リ
マセスガ、總括的ニ申シマス、各國ノ比
率ト對比シマシテ、日本ニ於テモ割合各國
並ニ若クハ上位ノ人口割合ニナッテ居ルノ
デアリマス、唯現在カラ將來ニカケテ滿洲
並ニ支那方面ニ年々澤山ノ醫師ノ要求ガゴ
ザイマシテ目下是等ノ方面ニ差向ケル方ニ
モ非常ナ困難ヲ感ジテ居ルヤウナ事情カラ
申シマスレバ相當數ノ醫師ガ教養サレテモ
支障ナイモノト考ヘテ居ル譯デアリマス、
尙年々先ヅ二千四、五百名宛殖エテ行ク勘
定ニ醫者ガナッテ居リマスノデ、之ヲ人口ノ
殖エテ行キマス割合ト考慮致シマス、人
口比率ヨリハ稍、高度ノ醫師ノ殖エ方ヲ以
進シテ居ル事情デアルト云フトダケヲ申
上ダテ置キマス

○男爵山川建君 成程今後滿洲ニモ、支那

ニモ醫者ハ要ルト思ヒマスガ、併シ如何ニ考ヘマシテモ、今林政府委員ノ仰シヤツタヤウニ、此ノ醫者トシテノ教養程度如何ニ依ッテモ數ハ違ウト云フ御話デ、是モ御尤モト思ヒマス、大學卒業生ト專門學校卒業生デアル醫者トハ色々關係ハ違ヒマスガ、如何ニ違ヒマシテモ三十萬ノ醫者ガ當時必要ダト云フコトハ、ドウシテモ仰シヤルコトハ私ハ出來ナイト思フ、如何ニ多く見積リマシテモ、二三萬ノ問題ダト思フノデアリマス、併シ是以上數字ハ伺ヒマセヌガ、併シ假ニ三十萬人ノ管理醫ガ居ルトシマシテモ、一人當リノ擔當ハ百人デアリマス、デ私此ノ國民體力管理法ト云フモノハ、非常ニ重要ナモノデアアル、國家的ノモノダトハ思フノデアリマスガ、併シ之ヲ御實施ニナルノニ、ドウモ十分ナル御用意ガナイヤウニ思フノデアリマス、醫者ハ多イ方宜イノダト云フ御話デアリマスガ、今後ノ日本ノ醫界ノ情勢カラ見マシテ、三十萬ノ醫者ヲ常ニ持ッテ居ルト云フコトガ國ノ爲ニナルカドウカト云フコトニナリマス、私ハ斷ジテ然ラズト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスルト此ノ國民體力管理法ノ出來マシタ曉ニ於キマシテ、管理醫ガ實際ノ仕事ノ中心ニナルト云フコトガ殆ド不可能ノヤウニ思フノデアリマス、デサウナリマス、此ノ管理法ニ基イテ得マシタ國家的貴重ナ資料ガ噓ガ多イト云フコトニナリハシナイカ、折角期待シタ結果ガ粗糲ナモノニナリハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマスガ、併シ此ノ條文ニ付キマシテハ此ノ位ニ止メテ置キマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 先程來ノ現在ノ醫者ノ數ト、ソレカラ將來要シマス管理者ノ數等ニ付キマシテ、色々御心配的ノ御意見

御質問ヲ拜聽シタノデアリマスガ、當局ト致シマシテハ、千葉縣デ之ヲ經驗致シマシタ結果ニ基イテ、現在考ヘテ居リマスコトハ、三千萬人ノ被檢者ヲ全部ヤルト云フ場合ニ、其ノ場合ニ大體此ノ三千萬人ノ被檢者ヲ幼兒、學齡前ノ者、幼兒一千萬、ソレカラ小學ノ兒童一千萬、ソレカラ其ノ後ノ青少年一千萬ト、大體デゴザイマスガソレヲ三ツニ區分致シマシテ、サウシテマア時期ヲ異ニシテ檢査スル、サウシマスト一千萬ノ被檢者ヲ檢査致シマスノニ、現在ノ醫者ノ約八割ヲ動員致シマシテ、ソレヲ半日ヅツ勤務セシメマシテ、サウシテ約十二三日位デ済ミ得ルト思フノデアリマス、デサウ云フ積リデ居リマスルノデ、マア甚シキ不都合ヲ來スヤウナコトハナイト思フノデアリマス、尙先程來此ノ醫者ハ只動員シテ、只使フノダト云フヤウナマア誤解ノ如キ、誤解ヲ招クト云フヤウナ感ガ致シタノデアリマスガ、オ醫者サンニ半日勤務シテ戴キマシテ、マア五圓程度ノオ手当ヲ差上ゲル、ソレハ要スルニ體力檢査ニ從事スル臨時ノ國民體力管理法アリマス、ソレカラ當時ノ所謂指導ニ當ル人ニ對シマシテハ、是ハ相當ノ手当ヲ見込シテ居ルノデアリマシテ、手當及ビ旅費等モ見込シテ居ルノデアリマシテ、餘リ斯ウ只使フト云フヤウナコトハ考ヘナイノデアリマス

○男爵山川建君 此ノ十二條ハ今議題ニナッテ居ルノデアリマセウカ

○委員長(子爵野村金三君) 十二條ハマダデス

○子爵立花種忠君 半日ニ數十人ノ被管理者ヲ診ルトナレバ、餘程非凡ノ醫者デナケレバ、誤診ヲ生ジハシナイカト云フヤウナ心配ガアルデス、況ヤ其ノ手當ト云フモノガ餘リ多額デモナイヤウニ思フノデス、殊ニ開業醫ト云フモノニハ、ソレムノノ開業醫ニハ職業意識ガ失張リアルト私ハ思ヒマス、午後半日出テサウシテ僅カ是ダケノモノヲ戴イテ居ル以上ハ、又他デ一ツ何トカ補ハナケレバナラヌト云フ考ヲ起スカモ知レナイト私ハ思フノデアリマス、割ッテ御話申上ゲマスガ……サウスレバ此ノ被管理者ヲ診察シテ、診斷シテ、其ノ被管理者ヲ自分ノ方ヘ引付ケルト云フ虞ガアリハシナイカ、少シ位惡イ太シタコトハナイシダケレドモ、君ノ病氣ハ斯ウ云フ譯デアラガ、イヤ俺ノ所ニ來レバ早速早ク治シテヤルゾト云フヤウナコトデ引張ッテ行ク傾向ガアリハシナイカ、斯ウ云フヤウナコトモ考ヘ得ルンデヤナイカト思フノデアリマス、ソコ等ニ付キマシテ政府ハ臨時ニハ無論付ケナインデスガ、臨時デナイモノニハ、相當ノモノヲ御出シナルト伺ッテ居リマスガ、此ノ醫者ノ職業意識ト云フコトニ付テハ餘程御考ニナリマセヌト、誤診デモ生ジタ時ニ非常ナ問題ト思ヒマスノデ、一應御伺ヒ致シマス

○政府委員(曾我梶松君) 只今ノ御質問ニ御答申上ゲテ置キマスガ、大體現在ノ徵兵檢査等ニ於キマシテモ一日大抵七八十人カラ百人近クヤッテ居ルノデアリマス、デ私共ノ方ノ經驗カラ申シマシテモ半日四十人ノ一齊檢査ヲヤリマスノニハソレ程無理ハ行カナイト考ヘラレルノデアリマス、殊ニ結核デアルトカ或ハ花柳病デアルトカ、其ノ他色々精密ナ檢査ヲ要スルモノハ其ノ一齊檢査ノ場合カラ直グニ省キマシテ、サウシテ

其ノ者ニハ特ニ入念ニ別ニ之ヲ檢査スルノデゴザイマス、從ッテ一齊檢査ダケデ済ムモノニ付キマシテハ比較的サウ云フ虞ノナイモノガ多イノデアリマス、サウ云フ心配ハ少クナルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二點ノ職業意識ニ對シテノ御注意デアリマスガ、御尤デアリマスノデ、私共管理醫ヲ選定致シマス時ニハ一府縣ヲ單位ト致シテ其ノ府縣内ノ全部ノ開業醫ノ中カラ之ヲ選定致シマシテ、其ノ人ノ開業シテ居ル所、或ハ其ノ人ノ勤務ヲシテ居ル場所等ニ必ズシモ其ノ人ヲ振向ケルト云フコトノナイヤウニ、ソレ等ヲ適當ニ配置ヲ致シマシテ、檢査ヲ施行スル積リデ居リマス、ソレカラ當時ノ體力管理醫ニ付キマシテハ、一郡市區ニ極ク僅ノ數ヲ常置スル積リデアリマスガ、是ハ差當リ結核ト花柳病ダケノ要指導者ニ付テ指導ニ當ラシメルノデアリマスカラ、一郡ニ大抵二人、一市區ニ多イ所デ三人四人ト云フヤウナコトニナリマスノデ、其ノ心配ハナイヤウニ致シテ置キタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵實吉純郎君 此ノ管理醫ヲ御任命ナサレマスニ付テ、今ノ御話デハ開業ヲシテ居ル醫師ヲ主體トシテ爲サルヤウニ思ヒマスガ、開業醫トナリマスト是ハ色々意味デ醫師會ノ方トノ關係モアリマスガ、臨床的ノ方面ニ常ニ携ハッテ居テ、斯ウ云フ所デ檢査ヲスルト云フコトニハ餘リ慣レナイ人ガ多イダラウ、殊ニ餘計ニ開業醫ヲ動員サセルト、其ノ中ニハ殆ドサウ云フコトヲシタコトノナイ人マデ交デルノデアリカト心配シテ居リマスガ、將來ハ此ノ開業醫デナクシテ、今實施サレテ居ル色々ノ保健所ト云フ所ニ從事サレテ居ル醫師、斯ウ云フ

ノヲ主體トシテ此ノ検査醫、管理醫ニナサ
レルト云フ御考ハゴザイマセヌデスカ、サ
ウシマス可ナリ醫師會ヤナゾノ摩擦モ少
クナリハシナイカ、サウ云フヤウナコトモ
如何デアリマセウカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 管理醫ニ選任
致シマスルノハ開業醫ダケデハゴザイマセ
ヌノデ、開業シナクテモ醫師ノ資格ヲ有ッテ
居ル者、所謂醫師ノ資格ト力ヲ有ッテ居ル
人カラ廣ク選任シタイト思ヒマス、後段ノ
方ノ保健所ヲ中心トシテヤッタラドウカト
云フ御意見、是ハ御尤デアリマシテ、此ノ
検査後ノ指導ニ付キマシテハ、主トシテ保
健所ヲ中心トシテヤリタイト存ジマス、先
程ノ管理醫ヲ設置スル區域モ大體保健所ヲ
設置スル豫定區域ガゴザイマスカラ、ソレ
ヲ中心ニシテ置キタイト考ヘテ居リマス
○委員長(子爵野村金三君) ソレデハ御異
議ガナケレバ第十條第十一條第十二條三條
併セテ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 第十條ハ體力
検査ノ場合ニ於テ、國民體力管理醫ハ、被
管理者ノ體力向上ニ關シマシテ必要ナル指
導ヲナスベキコトヲ規定シタノデアリマス
ガ、第四條第一項ニ於テ、被管理者ニ對シ
テ體力検査ヲ受ケルノ義務ヲ課シ、第二項ニ
於テハ保護者ニ之ヲ受ケシムル義務ヲ課シ
タノハ、一面ニ於テ被管理者個々ノ體力實
情ニ應ジ、適切ナル指導注意ヲ與ヘ、以テ
親權者ノ監護ノ義務ヲ完遂セシメル爲デア
ルカラ、本條ニ於テ特ニ其ノ指導ヲ與フベ
キコトヲ規定シタノデゴザイマス、第十一
條ハ地方長官ノ體力検査ノ結果、被管理者
ノ疾病ノ状態ニヨリマシテ、就業ノ場所又
ハ時間ノ制限、業務ノ變更等ノ必要アリト認

ムル場合、又ハ體質虛弱ニシテ、特ニ政府
ノ爲ス指導施設其ノ他公共團體ノ體力向上
施設ヲ利用スル必要アリト認メタ場合ニ於
テ、本人又ハ保護者ニ對シ其ノ旨ノ指示ヲ
爲シ得ルコトヲ規定シタノデゴザイマス、
尙必要アル場合ニハ同時ニ被管理者ヲ使用
スル者ニモ指示ヲ爲シ得ルコトヲ致シタノ
デゴザイマス、本人又ハ保護者ニ對シテ指
示シタル事項ノ履行ヲ完全ナラシムル爲デ
ゴザイマス、第十二條ハ厚生大臣ノ指定ス
ル疾病ニ罹リテ居ルガ、マダ醫者ニ就テ治療
ヲ受ケテナイ被管理者ヲ發見致シマシタ時
ハ、地方長官ハ本人又ハ保護者ニ對シマシ
テ、醫師ニ就イテ療養ヲナスベキコトヲ命ジ
得ル旨ノ規定デゴザイマス、サウシテ若シ貧
困ニシテ其ノ義務ヲ履行スルコトガ出來ナ
イ場合ハ、其ノ申請ニ依リマシテ國民體力
管理醫ニ付キ療養ノ指導ヲ受ケシムルコト
トシタノデゴザイマス、此ノ場合ニ要スル

指導ノ費用ハ國費ヲ以テ支辨スル豫定デア
リマス、而シテ第一項ニ但書ヲ付ケマシ
タノハ、是等ノ學校ハ地方長官ノ管轄ニ屬
シテ居リマスバカリデナク、是等ノ學校ニ
在學スル被管理者ノ保護者ハ廣ク全國ニ互
リ居住シテ居リマスルカラ、之ニ對スル處
置命令ニ付テハ特別ノ考慮ヲ必要ト認メ、
勅令ヲ以テ別段ノ定メヲ爲シ得ルコトトシ
タノデアリマス
○委員長(子爵野村金三君) 御質問ヲ願ヒ
マス

○男爵黑田長和君 此ノ第十條ノ終ヒノ體
力向上ニ關スル指導ヲ爲スベシト云フ之ヲ
見マス、何ダカ此ノ體力ヲ積極的ニ發達
サセル所ノ「アドヴァイス」ヲ與ヘルト云フ
風ニドウモ見エマスカ、健康的ノ指導ヲスル

ト云フ意味デヤナイノデスカ
○政府委員(佐々木芳遠君) 理想ト致シマ
シテハ體力管理醫ガ積極的ニモ指導スルノ
ハ望マシイノデゴザイマスケレドモ、現在
ハ積極的ノ指導的ノ指示ヲヤルト云フコト
ハドウカト思ヒマシテ、マア簡單ナル缺陷
ヲ是正スル意味ノ指導ト云フコトヲ考ヘテ
居リマス

○男爵黑田長和君 サウシマス此ノ法文
ハ少シ不都合デヤアリマセヌカ
○政府委員(佐々木芳遠君) 將來ハ其ノ積
極的方面ニモ指示ヲシテ貫ヒタイノデアリ
マスガ、是ハ法文カラ云ヘバ大分廣イ意味
デゴザイマスカラ、ヤッデモ差支ヘナイノデ
アリマスケレドモ、唯現在ノ醫師ノ國民體
力管理醫ト致シマシテ、ソレガ完全ニ行ク
カドウカト云フコトハ自信ガナイノデゴザ
イマシテ、成ルベク消極的ノ意味ニ用ヒタ
イト斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵黑田長和君 是非非常ニ小サイ問題
デアリマスカラ、問題ニハシタクナイコト
デアリマスガ、ドウモ空文ニ屬スルヤウナ
文句ハ餘リ御掲ゲニナラス方ガ宜カナイカ
ト思ハレマス、實ハ私ハ積極的ノ指導ト云
フコトヲ非常ニ望ンデ居ルノデアリマシテ、
是ハ文部省ノ方ニスッカリ御委ネニナルト
云フコトデアリマスルガ、併シ文部省ノ方
モ體力研究所ト云フモノハマダソレ程發達
シテ居ナイヤウニ思フノデアリマスガ
○政府委員(佐々木芳遠君) 積極的ノ指導
モヤッデ差支ヘナイノデゴザイマスガ、實際
ノ場合ニ先程ノ、オ前ハドンナ「スポーツ」
ヲヤレトカ、或ハ武道ヲヤッテハイカスト
カ、或ハ「ボート」ガ宜イナント云フヤウナ
細カイ指導ハ、體力管理醫ニサウ云フ指導

ヲサセルト云フコトハ適當デヤナイト、斯
ウ云フ頭ガアツクモノデゴザイマスカラ、積
極的ト云フ方面ハヤラナイ積リダト、斯ウ
申上ゲタノデアリマスガ、其ノ被管理者ニ
對シマシテ體力検査ノ結果、オ前ハ無病息
災ダ、非常ニ良イ體ダカラ、一ツ體育運動
デモヤッテ大イニ鍛ヘロト、或ハ武道デモ一ツ
ヤッテ大イニ鍛ヘロト、斯ウ云フヤウナ指
導、積極的ノ指導ハ私ハ大ニヤッテ戴キタ
イト思ッテ居リマス、唯先程チヨット御話ガ
アリマシタガ、個々ノ「スポーツ」ヲ指摘シ
テ、サウシテ指導スルト云フコトハ、是ハ
管理醫ニハ無理デハナイカ、荷ガ重過ギル
ノデヤナイカト斯ウ思ヒマシテ、サウ云フ
意味ニ御答ヘシタノデアリマスガ、消極的
方面ノ指導及只今申上ゲマシタ意味ノ積極
的ノ指導ハヤッテ宜シイト斯ウ考ヘテ居リ
マス

○男爵山川建君 此ノ第十二條ノ終ヒノ方
ニ「地方長官ハ其ノ者ノ申請ニ依リ國民體力
管理醫ニ就キ療養ノ指導ヲ受ケシムルコト
ヲ得」トアリマスガ、是非非常ニ何ガ廻リ諄
イ書キ方ノヤウニ思フノデアリマスガ、例
ヘバ茲ニ家族ノ非常ニ多イ、而モ貧困デアッ
テ、自ラ療養ノ出來ナイ相當程度ノ高イ結核
患者ガアツタト致シマス、ソレヲ管理醫ガ結
核患者デアルコトヲ發見シタ、發見シタガ、
之ヲ療養スルダケノ經費ヲ支辨スルコトガ
出來ナイト云フ場合ニ、此ノ體力管理醫ニ
付テ療養ノ指導ヲ受ケニ行ク、御前ハ今日
ノ生活狀態デハ決シテ恢復スルコトハ出來
ナイカラ、何處カ遠イ處ニアル「サナトリ
ウム」ニ行ッテ療養シタラドウカ、或ハ病院
ニ入院シタラドウカト云フ指導ヲスルコト
モ指導デアリマスガ先程ノ御話ニ依ルト、

ソレニ要スル經費ハ國費ヲ以テ支辨スルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、サウスルトサウ云フ場合ニハ其ノ人ガ入院スル、或ハ「サナトリウム」ニ行ク、サウシテ其處デ療養ニ要スル經費ト云フモノハ國ノ方デ出シテヤルト云フ御考デアリマスカ、ドウデゴザイマスカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 今ノ御話ノ茲ニ結核患者ヲ發見シタ、未ダ醫者ニ就イテ居ナイト云フ場合ニ、地方長官ハ管理醫ノ意見ニ依リマシテ、療養ニ關スル處置命令ヲ出スノデアリマス、其ノ療養ニ關スル處置命令ニ所謂金ガアリマス人ハサウ云フ特別ノ轉地モ出來マセウシ、或ハ病院ニ入ルコトモ出來マセウシ、ソレカラ「サナトリウム」ニ入ルコトモ出來マセウ、サウ云フ場合ニハ所謂處置命令デ以テ指示ヲ致スノデアリマス、其ノ外或ハ健康保險組合ニ入ッテ居ル者ガアレバ、健康保險組合ノ制度ニ依ッテ手當ヲスル、色々ノ施設ヲ利用シテ有ラニル體力ノ向上ニ關スル疾病ノ治療ニ關スル手當ヲスルヤウニ指示ヲスルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ施設デ救済セラレナイ所ノ者、而モ生活ハ出來ルケレドモ、療養ノ費用ガ無論、ナイト云フ者ニ對シテ、政府ハ國ノ費用ヲ以テ色々ノ療養ノ指導ヲシテヤル、斯ウ云フ意味デゴザイマス

○男爵山川建君 サウ致シマス地方長官ガ處置命令ヲシタモノノ中デ貧困云々ノ場合ニハ斯ウスル、併シサウ處置命令ヲ餘計致シマス國費ノ負擔ガ非常ニ高ミマスカ、多クノ場合サウ云フ貧困者ニハ處置命令ハシナイノデアリマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(佐々木芳遠君) 必要アル場合

ニハ處置命令ヲ出ス積リデゴザイマス、從ヒマシテ經費ノ嵩ムコトヲ心配シテ其ノ處置命令ヲ手控ヘルト云フヤウナコトハ致シタクナイト思ヒマス

○男爵山川建君 豫算ヲ見マスルト、第二項ノ事業費ノ中ノ第二目ニ療養指導費ト云フモノガ二十萬バカリ取ッデアリマスカ、是ガソレニ該當スルノデアリマスカドウカ伺ヒタイ

○政府委員(曾我尾松君) 御答申上ゲマスガ、療養ノ指導ヲ致シマスノハ、處置命令ヲ受ケマシタ者ノ中デ、貧困デ自分デ療養出來ナイ者、ソレダケニ限ルノデアリマス、而モ其ノ貧困ノ者ノ中デ尙府廳立ノ無料療養所「ベット」ニ收容出來ルモノハ之ニ委託スルノデアリマス、ソレカラ救護施設等ニ收容出來ル者ハソレニ收容スルノデアリマスガ、サウ云フモノニ一切出來ナイ、保護者ニモヤッテ行クコトガ出來ナイト云フ者ダケガ、此ノ十二條ニ該當スルモノニナルノデアリマス、從ヒマシテ之ヲ大體推算致シマス、約二百三十萬ノ中デ該當者ガ六千人近クアルノデアリマス、之ニ該當スル者、ソレ等ノ者ハ常設ノ管理醫ニ就イテ療養ノ指導ヲ受ケルノデアリマスガ、是ガ自分デ出掛ケテ指導ヲ受ケラレル者ハ其ノ管理醫ノ許ニ行ッテ指導ヲ受ケマス、ソレカラ自分デ出掛ケテ行クコトノ出來ナイ者ハ自宅ニ於テ療養致シマシテ、管理醫ガ時々出掛ケテ行ッテ指導シテヤルノデアリマス、大體月ニ二回位指導ニ出掛ケテヤルト云フヤウニ豫定シテ居リマス、又自分デ來テ診テ貰ヘル者ハ二回乃至三回、或ハソレ以上出掛ケテ行ッテ診テ貰ッテ宜イノデアリマスガ、ソレ等ノ費用ヲ來年ハ、此ノ十五年度ハ検査ヲ大體十月前

後ニヤリマスノデ、其ノ後ヲ考ヘマスト云フト、指導ニ要スル期間ハ先ヅ三箇月位、斯ウ想像致シマシテ、ソレニ要スル費用ヲ二十萬圓バカリ計上シテアリマス

○委員長(子爵野村金三君) 政府委員ニ申シマスガ、豫算ノ問題ニ入ッタヤウデアリマスガ、此ノ際大體御説明ニナッたら如何デスカ

○政府委員(曾我尾松君) ソレデハ大體豫算ノ内容ヲ御説明申上ゲマス、十五年度ノ豫算總額ハ二百五十萬圓デアリマス、此ノ中デ本省並ニ地方廳ニ要シマス費用ガ約三十三萬圓バカリ、四十萬圓アリマス其ノ内容ハ本省ノ方デ體力局ニ技師ヲ四名、體育官一名、ソレカラ屬官ヲ八名、其ノ他雇員ニ集計員等ヲ置ク豫定デアリマス、地方廳ノ方ニ於キマシテハ、體力管理ニ當ラシムル技師ヲ一名ヅツ、ソレカラ屬官ヲ二名ヅツ、其ノ他臨時雇、集計員等ヲ置ク豫定デアリマス、次ニ事業費ノ方ニ於キマシテ體力検査ニハ大體八十七萬圓ヲ計上シテ居ルノデアリマス、此ノ八十七萬圓ハ検査ニ從事致シマス國民體力管理醫ノ費用、ソレカラ助手ニ要スル費用、其ノ他消耗品等ニ要スル費用デアリマス、ソレカラ検査後ノ指導ニ付キマシテハ、體力増強ノ指導ニ要スル費用、疾病ノ療養ノ指導ニ要スル費用ニナリマス此ノ體力増強ニ要スル指導費ハ大體二十四萬圓程デアリマスガ、ハハ體力検査ノ結果、體質ガ虛弱デ大シテ疾病ハナイ之ニ適當ナル生活方法ヲ指導シテヤリマシテ、段階訓練ヲシテ付キマスト云フト十分使ヘル體力ヲ備ヘルヤウニナル、斯ウ云フ見込ミノ人、徴兵検査デ申シマスナラバ、筋骨薄弱ト云フヤウナ程度ノ人ヲ、其ノ體力ヲ増

強スル爲メノ指導ニ要スル費用デアリマシテ、十五年度ト致シマシテハ、平均各府縣ニ十箇所ヅツ體力増強ニ要スル施設ヲ致シマシテ、ソコニ大體五十人乃至七十人位ノ者ヲ入所セシムルモノデアリマス、十五年度ト致シマシテハ差當リ海濱トカ山間等ノ寺、學校、或ハ青年ノ公會堂ト云フヤウナモノヲ使用致シマシテ、ソコニ共同宿泊ヲセシメ、サウシテ醫者或ハ體力ノ指導員ト云フ者ヲ附ケマシテ、一人々々ノ體力ノ現狀ヲ能ク見テ、此ノ人ハ大體ドウ云フ食物ヲドノ位、或ハドレダケノ運動量ヲスル、仕事ヲシナガラ身體ヲ元氣ニシテ行クト云フ實際的ナ生活ノ方法ヲ指導シテ行ク、サウシテソコヲ出マシテカラノ日常其ノ指導方法ヲ守リマシタナラバ、體力ガ向上シテ行クト云フ風ニ、一人々々ニ付テ具體的ナ寸法ヲ決定シテヤル、斯ウ云フ施設ヲスル考デアリマシテ、一府縣ソレガ大體十箇所約全國デ三萬五千人ノ者ヲ此ノ施設ニ入レテ指導スル積リデ居リマス、次ニ疾病ニ關スル指導デゴザイマスガ、是ハ十二條ノ結核、花柳病等ノ患者ニシテ、貧困デ自分デ療養ノ出來ナイ者、之ニ對スル指導ノ費用デゴザイマス、是ハ約二十萬圓程計上シテ居ルノデアリマス、是ハ常設ノ國民體力管理醫ガ、實際ソレ等ノ貧困ニシテ療養ノ出來ナイ患者ヲ指導致シマスル指導費デアリマス、消毒藥トカ、其ノ他ノ藥品類、或ハ「ガーズ」トカ、脫脂綿デアルトカ云フヤウナモノニ使用致シマスル所ノ指導ノ費用デアリマス、ソレカラ更ニ常設ノ體力管理醫ニ出シマス手當並ニ旅費ヲ二十四萬圓計上シテ居リマス、次ニ市町村ニ於キマシテハ、此ノ體力検査ヲヤリマス爲メ、色々雜費ヲ

要シマスノデ、協議會費ト致シマシテ、ソ
レゾレ市町村ニ一定ノ金額ヲ配布スル豫定
デゴザイマス、大體普通ノ市町村ニ於キマ
シテ、一町村ニソレハ被檢者ノ多少
ニ依リマシテ違ヒマスガ、平均ト致シマ
シテ一町村二回位開カス豫定デアリマ
ス、四十圓程度デアリマス、ソレカラ市ノ
方ニナリマス云フト、區モ多クナリマス
カラ、從ツテ澤山ノ費用ガ要ル譯デアリ
マス、市町村ニ參リマス、費用ハ其ノ
市町村ノ大小ニ依ツテ違ヒマスガ、最モ小サ
イ市町村、醫者ニ要スル費用ヲ除キマシテ、
大體二十四五人位檢査該當者ノ居ル所デ四
十四五圓位ノ程度ノ費用ヲ出スノデアリマ
ス、此ノ費用ヲ以テマシテ、助手デアルト
カ、或ハ統計ヲ取リマス爲ノ人ヲ傭フ、臨
時ノ人ヲ傭フ、其ノ他協議會等ニ要シマス
雜費ニ使用セシメル積リデ居リマス、大體
來年度十五年度ニ二百五十萬圓使用致シマ
ス、豫算ノ大要ハ以上ノ通りデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 御尋ハゴザイ
マセスカ、其ノ他三條ヲ通ジテノ御質疑ハ
宜シウゴザイマス、ソレデハ次ニ移リマ
セウ、第十三條

○政府委員(佐々木芳遠君) 十三條ノ一項
ハ國又ハ道府縣ノ事業ニ使用セラレル被管
理者等ニ關スル特令ヲ規定シタモノデゴザ
イマシテ、是等ノモノハ其ノ業務ノ性質上
市町村長ニ於テ體力檢査ヲ施行シタリ、或
ハ市町村ノ選任シタル國民體力管理醫ヲ派
遣シタリ、又ハ地方長官ニ於テ指示、處置、
命令等ヲ爲スヲ不適當トスル場合ガ多イノ
デアリマシテ、是等ニ付キマシテハ、別段
ニ勅令ヲ以テ定メルコトニ致シタノデアリ
マス、第二項ハ監獄、矯正院、少年教護院等

ニアル被管理者ニ關スル特令ヲ規定シタノ
デアリマスガ、是等ノモノハ何レモ特殊ノ
環境ニアル爲ニ、體力檢査ヲ施行ニ關シマ
シテモ、或ハ又其ノ後ノ管理ニ付キマシテ
モ特別ノ取扱ヲ要スルノデ、勅令ヲ以テ別
段ノ規定ヲ爲シ得ルコトト致シマシタ、サ
ウシテ其ノ實情ニ適合シタ處置ヲシヨウト
云フノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 御質問ハゴザ
イマセスカ、宜シウゴザイマス、御質疑
ガナケレバ次ニ移リマス、第十四條

○政府委員(佐々木芳遠君) 第十四條ハ被
管理者ヲ使用スル者ガ、體力檢査ノ結果判
明致シマシタ疾病、異常等ノ事實ヲ殊更ニ
誇張シテ、サウシテ被管理者ニ對シテ不利
益ナル取扱ヲ爲スコトヲ禁ジ、以テ被管理
者ヲ保護シタノデアリマス、不利益デア
カドウカト云フコトノ具體的ノ事實ニ付キ
マシテハ、社會通念デ判斷スル積リデゴザ
イマス

○委員長(子爵野村益三君) 御質問ハ如何
デスカ、社會通念、宜シウゴザイマス、
御質疑ガナケレバ、且御異議ガナケレバ罰
則ヲ一括シマス、第十五條、第十六條、第
十七條、第十八條、第十九條

○政府委員(佐々木芳遠君) 是ハ大體御覽
ニナレバ御了解ガ願ヘルト存ジマス

○光行次郎君 第十九條ノ此ノ罪ガ、刑法
ノ祕密洩洩罪ト、ソレカラ醫師法其ノ他ニ
比較シテ見マスト云フト、罰金ハ百圓ノモ
ノガ千圓ニナツテ居リマスガ、是ハマア經濟
價值ノ問題デ、サウ云フ風ニナルノモ問題
デアリマセスカ、申告罪ニシテアリマスガ、
是ハ一體ドウ云フ譯デアリマセウカ、別ニ
大シタ理窟モナカラウト思ヒマスケレド

モ……

○政府委員(曾我根松君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、別ニ深い理由モナイノデアリマスガ、併
シナガラハ各人ノ身體ニ關シマス祕密デ
アリマス爲ニ矢張り本人ガ申出タ時、當人ノ
方カラ希望スル時ニ罪ヲ論ズル、斯ウ云フ
風ニシタノガ適當デハナイカト云フノデ申
告罪ニシタノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザ
イマス、異議ガナケレバ次ニ移リマス、第
二十條、第二十一條並ニ附則

○政府委員(佐々木芳遠君) 二十條、二十
一條、之モ改メテ御説明申上ゲル迄モナイ
ト思ヒマス、附則モ全體的ノ質問應答ノ際
ニ申上ゲタト存ジマス、申上ゲタト思ヒマ
スガ、モウ一應要旨ダケヲ申上ゲマス、本
法ノ施行期日ハ勅令ニ委任スルノデアリマ
スルガ、施行豫定期日ハ昭和十五年七月一
日デゴザイマス、附則ノ方デゴザイマス、
尙本制度ガ完成スル迄當分ノ内體力檢査ヲ
受クベキ被管理者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ
定メルノデゴザイマス、デ來年度ハ既ニ申
上ゲマシタ通り十七、十八、十九ノ男子ダ
ケニスル豫定デゴザイマス

○委員長(子爵野村益三君) 是デ大體御質
疑ガ終ツタ譯デアリマスガ、若シ此ノ際殘
テ居リマスレバ御遠慮ナク御發言ヲ願ヒマ
ス、別ニゴザイマセスカ、ソレデハ私一寸
發言シタイト思ヒマス、御尋ヲシテ御答ヲ
適當ノ時期ニ願ヒタイト思フノデアリマス、
云フ迄モナク我國民體力ノ向上ヲ圖ル爲ニ
國民體力管理法ガ制定セラレ誠ニ結構ノコ
トト思ヒマス、併シ本案實施ニ付テ非常ナ
努力ヲ要セラレル譯デ、厚生省ハ所謂總動員
デアラナケレバナラスト思フノデアリマス、ソコ

デ此ノ機會ニ於テ豫メ承テ置キタイコトハ、同
ジク厚生省ノ重要使命トシテ人口問題ヲ研
究サレルコトニナツテ居ルノデアリマス、
是ハ又非常ニムツカシイ問題デ、ソレコソ
本當ニ總動員ヲ以テ當ラナケレバナラスト
思フノデアリマス、私ノ承リタイノハ厚生
省ノ、寧ロ是ハ政府ト云フテ宜イカモ知レマ
セスカ、考ヘテ居ラル、所ノ所謂人口政策
或ハ人口問題デモ宜イノデスカ、其ノ人口
問題ト云フモノニ、國民體力ノ向上ト云フ
コトヲドノ程度ニ於テ含シデ居ラレカ、
又含マセナケレバナラナイカト、斯ウ云フ
コトヲ伺ヒタイノガ一ツ、ソレカラモウ一
ツハ、是ハコトハ企畫院ニ關係スルノデア
リマス、企畫院ハ御承知ノ通りニ、事變對
策ト云フモノト、尙永久對策ト云フモノヲ、
併セテ考究立案スル所ニナツテ居ルノデア
リマス、其ノ永久對策ノ中ニ人的資源ノ涵
養ト云フ問題ガ、實ハマダ殆ド取上ゲラレ
テ居ラナイ、ソコ迄行ツテ居ラスノデアリマ
ス、我々ガ思フノニハ、人的資源ノ涵養ト
云フ中ニハ、大キイ意味デ言ヘバ人口問題、
少シ範圍ヲ狹メレバ國民體力ノ向上ト云フ
コトガ當然含マレルモノト思フノデアリマ
ス、ソコデ只今申シタヤウニ、厚生省ノ方
面ニ於テハ、人口問題ノ範圍、即チ國民體
力ノ向上ト云フコトガ、人口問題ノ中ニ如
何ナル程度ニ於テ採入レラレテ居ルモノカ、
又採入レラレナケレバナラナイモノカト云
フコト、ソレカラ企畫院總裁ニ對シテハ、
企畫院ニ於ケル人的資源ノ永久對策ノ中ニ
國民體力ノ向上ト云フコトガ、如何ナル程
度ニ於テ、如何ナル形式ニ於テ採入レラレ
テ居ルノカ、又採入レラレバキカト云フコ
トヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、企

畫院方面ニ於テハ、出來ルコトナラ厚生省ノ方カラ然ルベク御連絡ヲ願シテ、サウシテ望ムラクハ次會ニ一ツ兩方カラ御説明ヲ願ヒタイト、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス

○國務大臣(吉田茂君) 只今ノ御質疑、私共豫考ヘテ居ルコトモゴザイマスルガ、尙將來永遠ニ互リマス人口國策ノ重要問題デゴザイマスルカラ、私共ノ考ヲ取纏メサシテ戴キマシテ、次回ニ御答ヲ申上ゲルコトニ致シマス、又只今ノ御質疑中企畫院ニ關シマスルコトハ、私共ノ方カラ企畫院ニ連絡ヲ執リマシテ、併セテ同ジ時機ニ御答ノ出來ルヤウニ取計ラヒマス

○委員長(子爵野村益三君) 申上ゲマスガ、明日ハドウシテモ都合ガ付カヌサウデアリマス、從ッテ本會ヲ明日、開クト云フコトハ出來ナクナリマシタノデ、明後日ニ開クコトニ致シマス、只今ノ御報告ヲ得マシテ、尙皆樣ニ於テ大體論ニ付テ御質疑ガ殘ッテ居レバ、其ノ際ニ願フコトニ致シタイ、ソレガ濟ミマスレバ、自然討論ノ方ニ入リタイト思ヒマス、又時宜ニ依リマシテハ、討論ニ先ダッテ懇談會ヲ開イテ、色々御相談ヲ申上ゲテモ宜イカト思ヒマス、左様ナコトデ、今日ハ是デ散會致シマス

午後四時十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵野村 益三君
副委員長 男爵小池 正晁君
委員

公爵島津 忠承君
候爵中御門經恭君
伯爵山本 清君
子爵立花 種忠君
子爵實吉 純郎君

昭和十五年三月八日印刷

昭和十五年三月九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局

光行 次郎君
男爵黑田 長和君
男爵山川 建君
藤沼 庄平君
平沼 亮三君
齋藤万壽雄君
岩田 三史君
吉田 茂君
厚生大臣
政府委員
文部政務次官 子爵舟橋 清賢君
厚生省體力局長 佐々木芳遠君
厚生省衛生局長 林 信夫君
厚生省豫防局長 高野 六郎君
厚生書記官 曾我 梶松君
説明員
文部省體育官 小笠原道生君